

令和3年MM教育実施状況アンケート調査 結果

交通エコモ財団では、平成28年度より自治体における交通担当部署を対象としたアンケート調査を実施し、各地における交通環境学習の実態調査を実施している。また、平成30年度からは教育委員会向けにもアンケート調査を実施している。

今年度も同様に自治体及び教育委員会向けのアンケート調査を実施した。

1 自治体向けアンケート

1.1 調査の目的

全国の自治体における交通環境学習の継続的な実施状況及び交通環境学習を普及していく上での課題把握を目的とする。

1.2 調査の設計

- 調査対象 都道府県及び市（東京23区含む）
- 調査票本数 862件（47都道府県、792市、東京23区）
- 調査方法 配布：郵送配布
回収：選択方式（インターネット、FAX、メール）

※メール回答の場合は、MM学習ポータルサイトからダウンロードできる電子データの調査票を用いる。より回答が簡易にできるよう、配布する電子データの調査票はエクセル形式とした。

- 調査時期 令和3年10月22日（月）～令和3年11月22日（月）

1.3 調査票の配布・回収の状況

- 配布件数 862件
- 有効回収件数（率） 444件（51.5%）

表 配布件数・有効回収件数

	配布件数 (件)	有効回答	
		回収数(件)	構成比(%)
インターネット	862	347	78.2
FAX		44	9.9
メール		53	11.9
その他		0	0.0
総計	862	444	100.0

＜参考＞過年度調査の回収方法と回収率 ※調査方法、配布方法は今年度調査と同様

	令和2年度調査		令和元年度調査		平成30年度調査	
	回収数(件)	構成比(%)	回収数(件)	構成比(%)	回収数(件)	構成比(%)
インターネット	282	68.6	254	59.3	265	61.3
FAX	62	15.1	87	20.3	101	23.4
メール	67	16.3	87	20.3	65	15.0
その他	0	0	0	0	1	0.2
有効回収件数	411件	100.0	428件	100.0	432件	100.0
	回収率47.8%		回収率49.8%		回収率50.2%	

1.4 調査項目及び調査票の設計

(1) 調査対象

アンケート調査票は、昨年度と同様、都道府県と市でA、Bの2種類に区別し、さらに、回答のしやすさを考慮して、昨年度調査での交通環境学習の取組みの有無により、質問の内容を下記の「内容1」、「内容2」にそれぞれ区分した。そのため、全部で4種類の調査票となっている。

内容1：令和2年度調査で交通環境学習の取組みが確認された自治体

内容2：令和2年度調査で交通環境学習の取組みが確認されなかった自治体

(回答があったが未実施、未回答)



図 アンケートの構成

令和2年度調査の結果から、各調査票は以下の通り配布した。

表 各アンケート調査票の配布件数

令和2年度調査 問1(※)に対する選択肢	都道府県		市区	
	R02 回答数	調査票	R02 回答数	調査票
1. 実施した	10 件	A1 (10 枚)	136 件	B1 (136 枚)
2. 過去に実施したことはあるが、 昨年度は実施しなかった	3 件	A2 (37 枚)	55 件	B2 (679 枚)
3. これまで実施したことがない	7 件		198 件	
不明・無回答	0 件		0 件	
未回収	27 件		426 件	
合計	47 件		47 枚	

(※) 問1：貴自治体では昨年度（令和元年度）に、「交通環境学習」を実施しましたか？

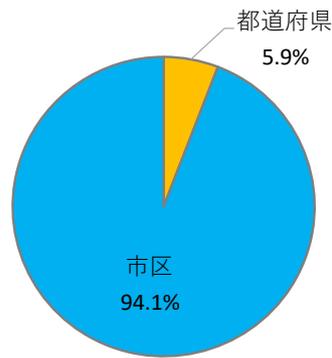
(2) 調査項目

アンケート調査項目は、昨年度と同様の内容に加え、問1「交通環境学習」の実施状況の選択肢として、新型コロナウイルスが実施に影響したかどうかを追加した。

1.5 調査結果

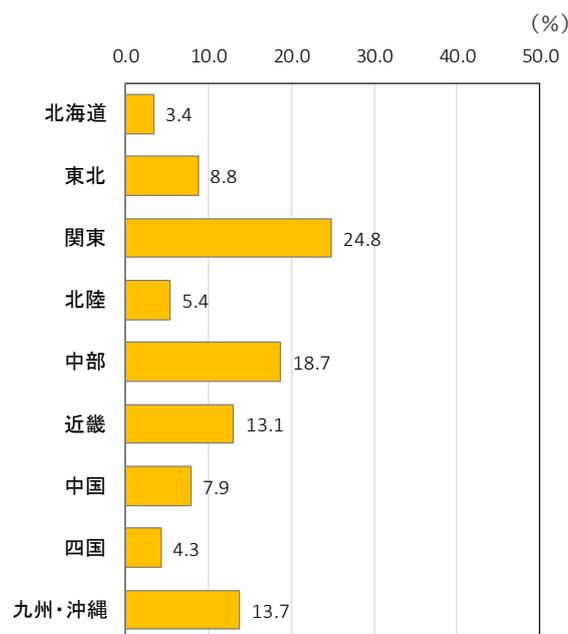
■回答者について

- 「都道府県」から 26 件（構成比 5.9%）、「市区」から 418 件（構成比 94.1%）の回答を得た。
- 回答票の構成比を地域別に見ると、「関東」が 24.8%と最も多く、次いで「中部」が 18.7%となっている。
- 人口規模別に見ると、「10 万人未満」が 56.1%と最も多く、次いで「10 万人以上 20 万人未満」が 17.1%、「20 万人以上 50 万人未満」が 16.0%となっている。



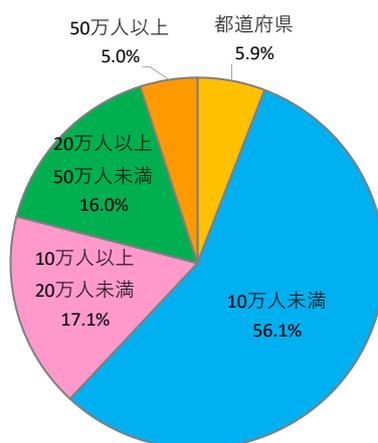
	今回調査		R02 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
都道府県	26	5.9	21	5.1
市区	418	94.1	390	94.9
合計	444	100.0	411	100.0

図 回答自治体



	今回調査		R02 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
北海道	15	3.4	14	3.4
東北	39	8.8	59	14.4
関東	110	24.8	87	21.2
北陸	24	5.4	20	4.9
中部	83	18.7	73	17.8
近畿	58	13.1	57	13.9
中国	35	7.9	31	7.5
四国	19	4.3	17	4.1
九州・沖縄	61	13.7	53	12.9
不明・無回答	0	0.0	0	0.0
合計	444	100.0	411	100.0

図 地方種別



	今回調査		R02 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
都道府県	26	5.9	21	5.1
10 万人未満	249	56.1	227	55.2
10 万人以上 20 万人未満	76	17.1	78	19.0
20 万人以上 50 万人未満	71	16.0	62	15.1
50 万人以上	22	5.0	23	5.6
不明・無回答	0	0.0	0	0.0
合計	444	100.0	411	100.0

図 人口規模別

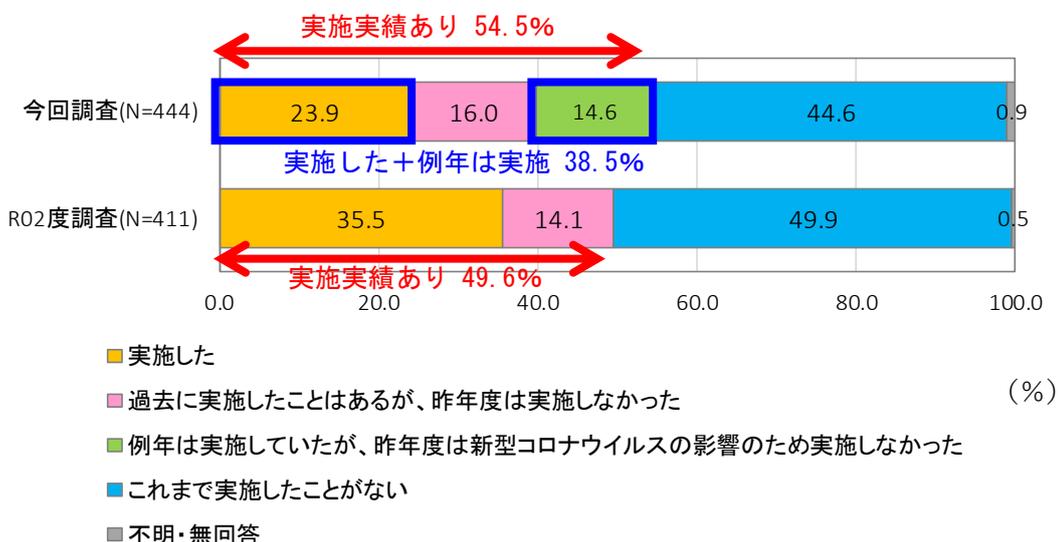
(1) 「交通環境学習」の実施状況

1) 「交通環境学習」の実施

① 「交通環境学習」の実施

問1 貴自治体では昨年度（令和2年度）に、「交通環境学習」を実施しましたか？（1つに○）

- 交通環境学習の実施状況は、「実施した」が23.9%で昨年度より11.6ポイント減少しているが、「例年は実施していたが、昨年度は新型コロナウイルスの影響のため実施しなかった」が14.6%であり、コロナの影響がなければあわせて38.5%が実施可能であったと考えられる。
- 実施実績がある自治体は54.5%で、昨年度調査と比較すると4.9ポイント増加している。
- 地方別に見ると、6割以上の自治体に実施実績があるのは北海道（60.0%）、中部（67.5%）、近畿（60.3%）、中国（62.9%）である。
- 都道府県の実施率は61.5%、市区の実施率は54.1%となっており、市区について人口規模別にみると、人口規模が大きいほど実施率が高く、50万人以上の自治体では90.9%となっている。



	今回調査		R02度調査		R01度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
実施した	106	23.9	174	40.7	178	41.2
過去に実施したことはあるが、昨年度は実施しなかった	71	16.0	54	12.6	43	10.0
例年は実施していたが、昨年度は新型コロナウイルスの影響のため実施しなかった	65	14.6	-	-	-	-
これまで実施したことがない	198	44.6	200	46.7	211	48.8
不明・無回答	4	0.9	0	0.0	0	0.0
合計	444	100.0	428	100.0	432	100.0
実施したことがある	242	54.5	228	53.3	221	51.2

図「交通環境学習」の実施

<参考>調査票ごとの回答件数

	合計		A-1		A-2		B-1		B-2	
	回答数 (件)	構成比 (%)								
実施した	106	23.9	3	50.0	4	20.0	50	49.5	49	15.5
過去に実施したことはあるが、昨年度は実施しなかった	71	16.0	0	0.0	4	20.0	14	13.9	53	16.7
例年は実施していたが、昨年度は新型コロナウイルスの影響のため実施しなかった	65	14.6	3	50.0	2	10.0	36	35.6	24	7.6
これまで実施したことがない	198	44.6	0	0.0	10	50.0	0	0.0	188	59.3
不明・無回答	4	0.9	0	0.0	0	0.0	1	1.0	3	0.9
合計	444	100.0	6	100.0	20	100.0	101	100.0	317	100.0
実施したことがある	242	54.5	6	100.0	10	50.0	100	99.0	126	39.7

A-1 昨年度調査で、交通環境学習の取組みが確認された都道府県

A-2 上記以外の都道府県

B-1 昨年度調査で、交通環境学習の取組みが確認された市区

B-2 上記以外の市区

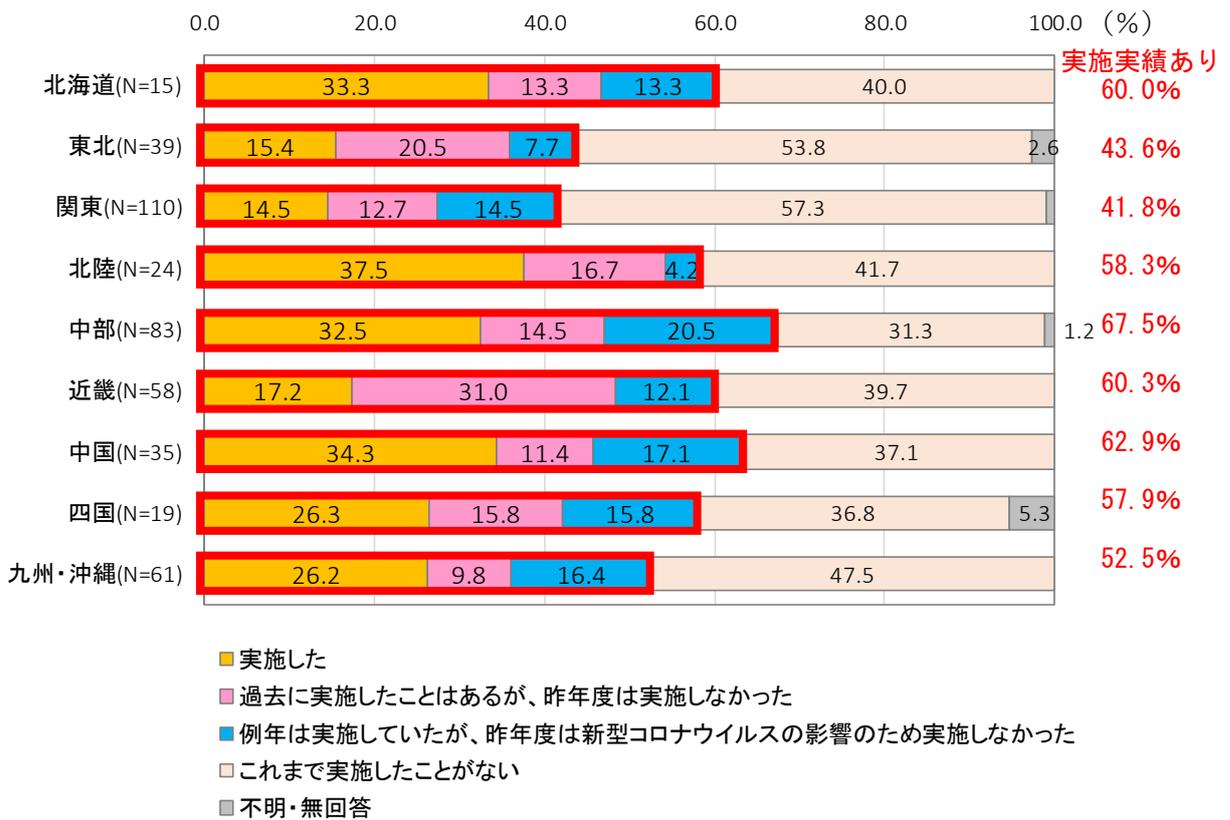


図 地方別「交通環境学習」の実施状況

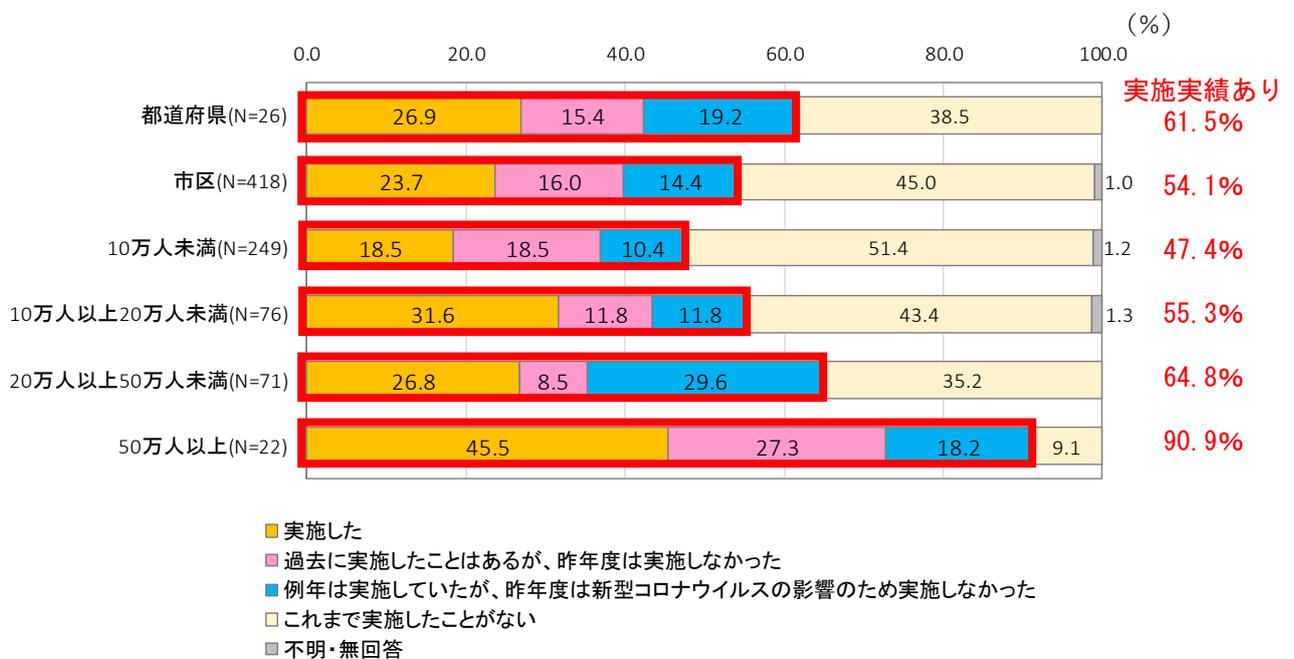


図 人口規模別「交通環境学習」の実施状況

② 「交通環境学習」を継続的に実施できる理由

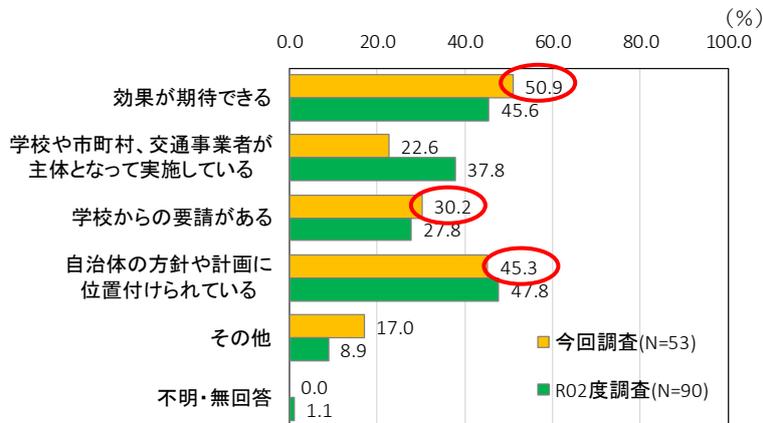
(昨年度調査で交通環境学習の実施が確認された自治体のみ)の設問:A-1・B-1 調査票)

(問1で「1」(実施した)とお答えの方にお伺いします。)

副問 「交通環境学習」を継続的に実施できる理由は何ですか？(いくつでも)

○昨年度調査で実施が確認された自治体に、交通環境学習を継続的に実施できる理由をお聞きしたところ、「効果が期待できる」が50.9%と最も高く、次いで「自治体の方針や計画に位置付けられている」が45.3%となっている。「学校からの要請がある」は30.2%であった。

「効果が期待できる」を理由として挙げている自治体の割合が昨年度に比べ高くなっているのが特徴である。また、期待する効果の主な内容としては、「公共交通の利用促進・利用者増」が最も多かった。



	今回調査		R02度調査		R01度調査	
	回答数(件)	構成比(%)	回答数(件)	構成比(%)	回答数(件)	構成比(%)
効果が期待できる	27	50.9	41	45.6	52	45.6
学校や市町村、交通事業者が主体となって実施している	12	22.6	34	37.8	45	39.5
学校からの要請がある	16	30.2	25	27.8	26	22.8
自治体の方針や計画に位置付けられている	24	45.3	43	47.8	46	40.4
その他	9	17.0	8	8.9	9	7.9
不明・無回答	0	0.0	1	1.1	0	0.0
合計(回答対象件数)	53	100.0	90	100.0	114	100.0

図 「交通環境学習」を継続的に実施できる理由

■ 「1. 期待する効果」の主な内容

分類項目	件数(件)
公共交通の利用促進・利用者増	11
公共交通のことを知ってもらう・興味を持ってもらう	8
利用方法の周知・マナーの向上	5
エコや環境問題に対する意識の啓発	2

■ 「5. その他」の主な内容

- ・夏休みの親子イベントは人気があり、交通事業者への利用促進にも繋がるため。
- ・社会資本整備総合交付金の活用

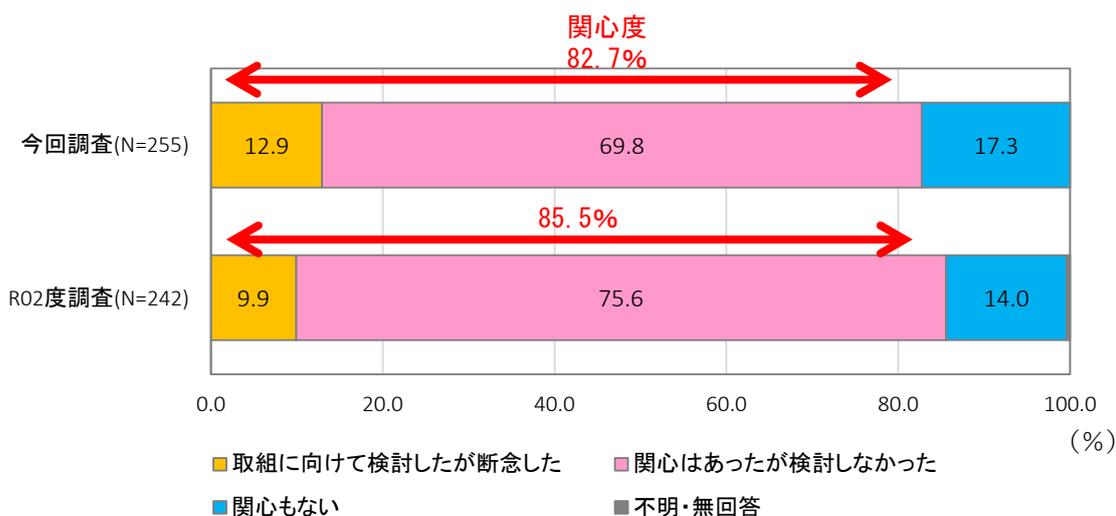
③ 「交通環境学習」に取り組む意向

(昨年度調査で交通環境学習の実施が確認されなかった自治体のみ設問:A-2・B-2 調査票)

(問1で「2」(過去に実施したことはあるが、昨年度は実施しなかった)「3」(これまで実施したことがない)とお答えの方にお伺いします。)

副問 「交通環境学習」に取り組む意向はありましたか? (1つに〇)

○実施しなかった自治体に、交通環境学習に取り組む意向をお聞きしたところ、「関心はあったが検討しなかった」が69.8%と最も多く、次いで「関心もない」が17.3%、「取組に向けて検討したが断念した」は12.9%となっている。「取組に向けて検討したが断念した」と「関心はあったが検討しなかった」をあわせると、関心のある自治体は82.7%と8割を超えているものの、昨年度調査より2.8ポイント減少している。



	今回調査		R02度調査		R01度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
取組に向けて検討したが断念した	33	12.9	24	9.9	25	10.7
関心はあったが検討しなかった	178	69.8	183	75.6	171	73.4
関心もない	44	17.3	34	14.0	36	15.5
不明・無回答	0	0.0	1	0.4	1	0.4
合計(回答対象件数)	255	100.0	242	100.0	233	100.0
関心がある	211	82.7	207	85.5	196	84.1

図 「交通環境学習」に取り組む意向

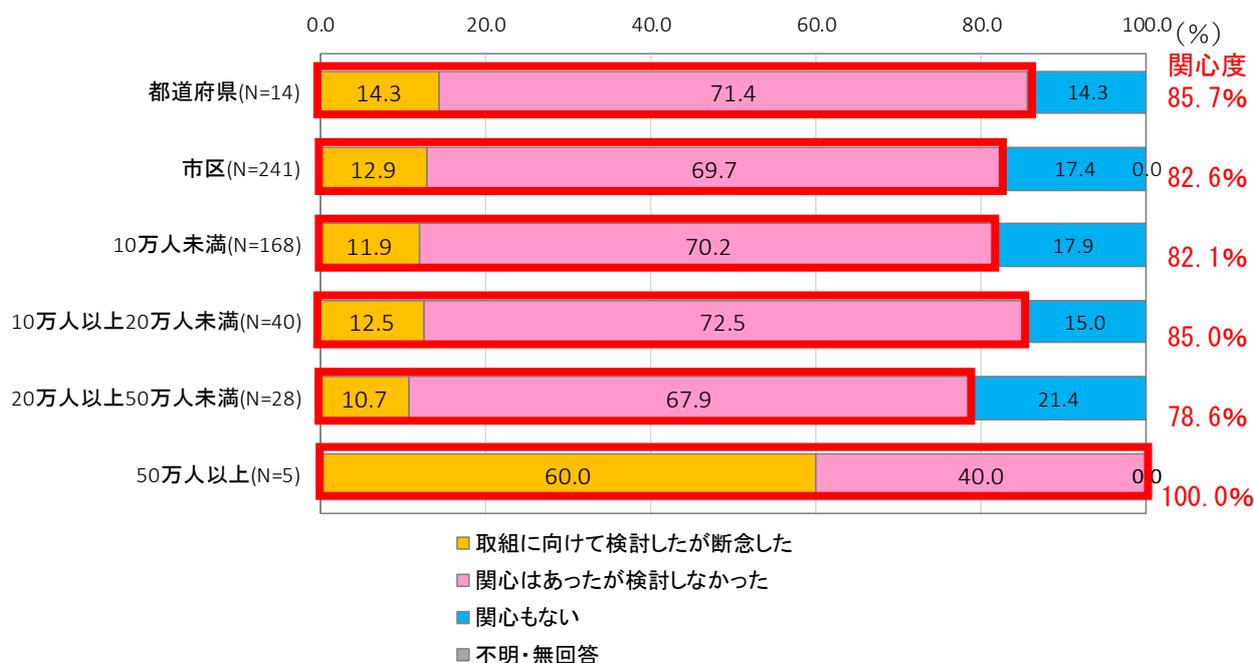


図 自治体規模別「交通環境学習」に取り組む意向



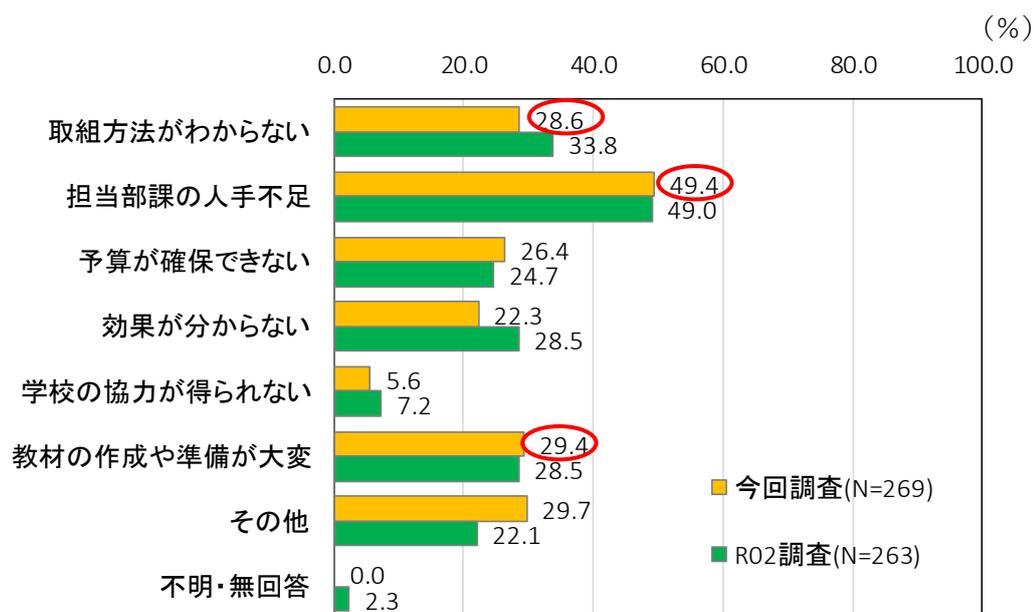
図 実施状況別「交通環境学習」に取り組む意向

④実施しなかった理由

(問1で「2」(過去に実施したことはあるが、昨年度は実施しなかった)「3」(これまで実施したことがない)とお答えの方にお伺いします。)

副問 「交通環境学習」を実施しなかった理由は何ですか？(いくつでも)

- 「担当部課の人手不足」が49.4%と回答者の半数以上を占め、次いで「教材の作成や準備が大変」が29.4%、「取組方法がわからない」が28.6%、「予算が確保できない」が26.4%、「効果がわからない」が22.3%と続く。また、その他の意見としては、「新型コロナウイルスの影響」が最も多く挙げられた。



	今回調査		R02度調査		R01度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
取組方法がわからない	77	28.6	89	33.8	90	35.4
担当部課の人手不足	133	49.4	129	49.0	137	53.9
予算が確保できない	71	26.4	65	24.7	64	25.2
効果が分らない	60	22.3	75	28.5	74	29.1
学校の協力が得られない	15	5.6	19	7.2	27	10.6
教材の作成や準備が大変	79	29.4	75	28.5	82	32.3
その他	80	29.7	58	18.3	47	18.5
不明・無回答	0	0.0	6	5.7	3	1.2
合計(回答対象件数)	269	100.0	263	100.0	254	100.0

図 実施しなかった理由

■ 「7. その他」の主な意見

分類項目	件数（件）
学校からの依頼、要望がなかった	8
他の実施主体（学校、交通事業者）が取り組んでいる	6
新型コロナウイルスの影響（休校、イベントの中止）	43
関係機関との調整がうまくいかなかった	5
必要性を感じていない、実施の検討をしていない	6
高齢者・就学前園児を対象とした学習を実施している	3
翌年度以降の取組を検討していた	1
自治体の公共交通に関する計画にない、計画を策定中	3
他に優先する業務がある	1
その他（災害の影響など）	4

○人口規模に関わらず、「担当部課の人手不足」が多く挙げられている。

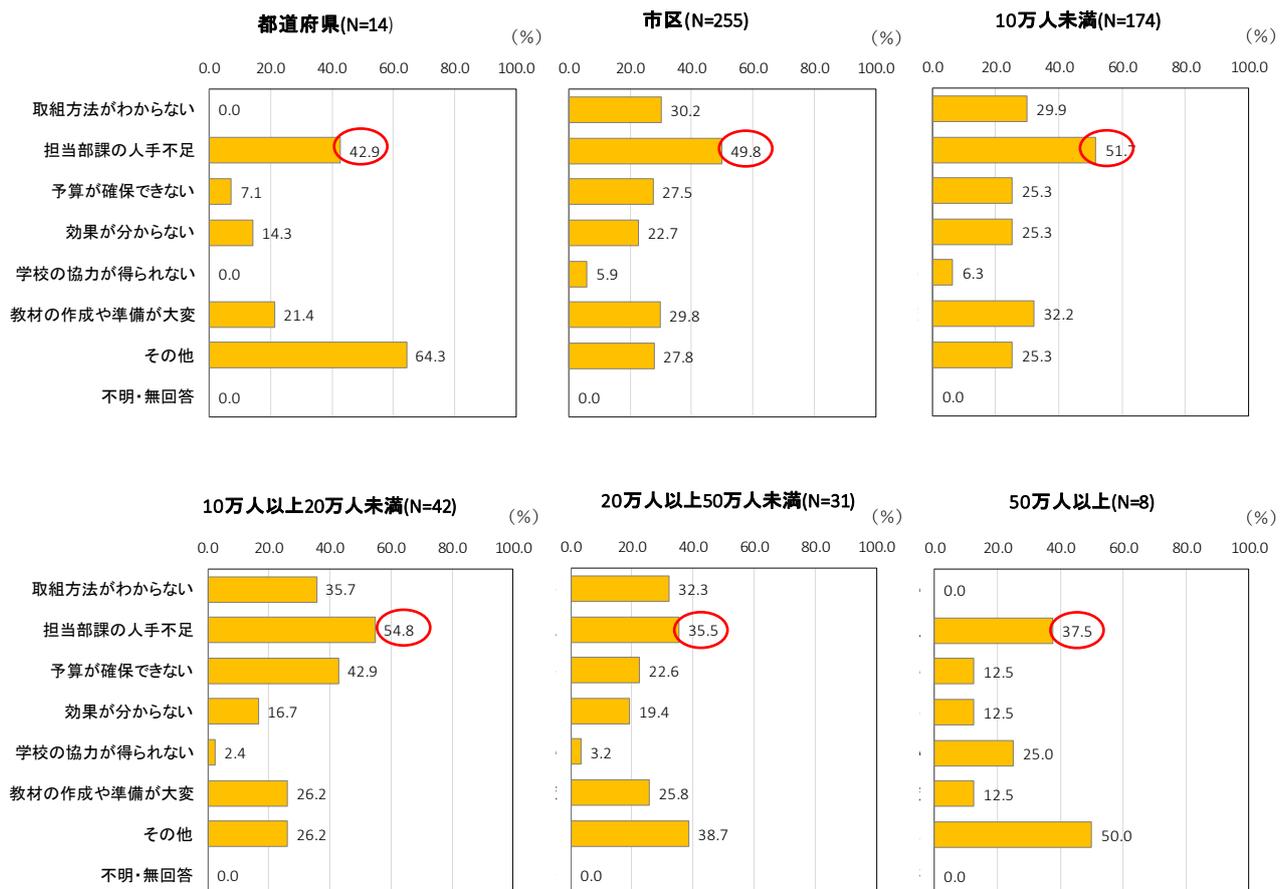


図 人口規模別 実施しなかった理由

【取組む意向別 実施しなかった理由】

- 取組に向けて検討した団体、関心はあったが検討した団体では、「担当部課の人手不足」が多く挙げられていた。
- 関心のない自治体では、「取組方法がわからない」「効果がわからない」が多くなっている。

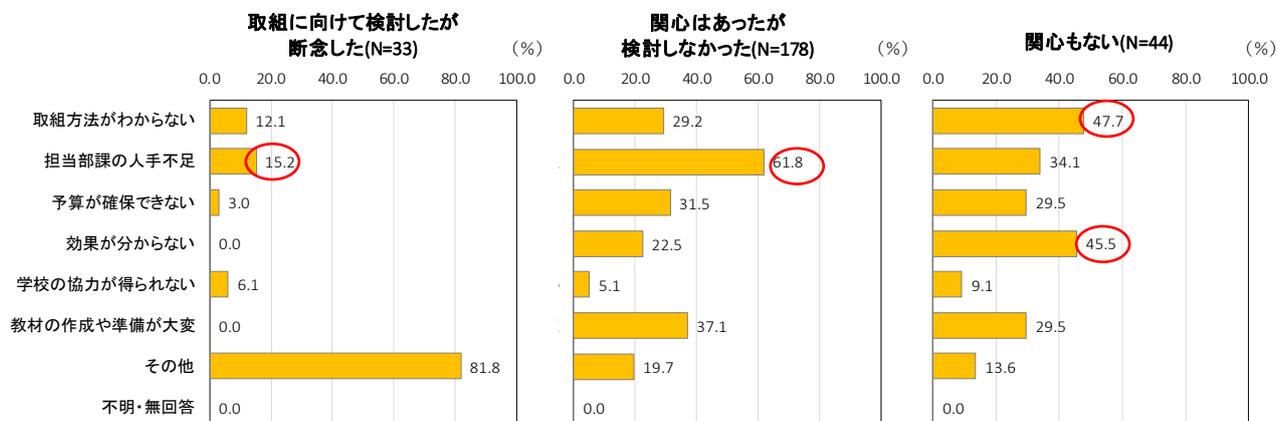


図 取組意向別 実施しなかった理由

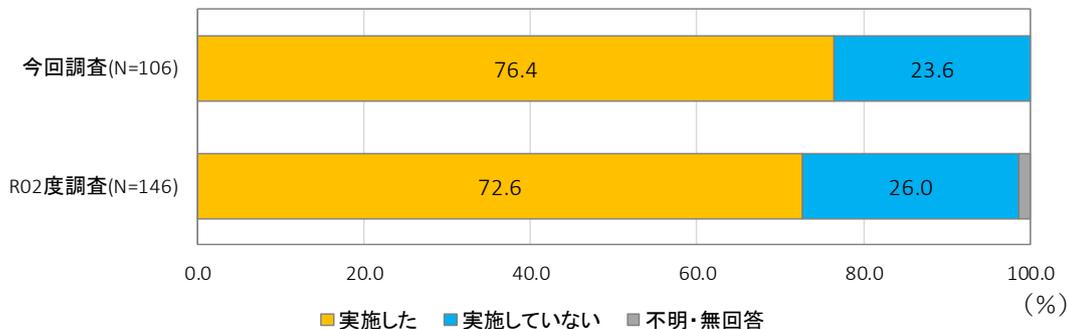
2) 交通環境学習の実施方法

(問1で「実施した」と回答した自治体のみ)

①授業の一環としての「交通環境学習」の実施

問2 昨年度、貴自治体で取り組まれた「交通環境学習」の実施方法についてお伺いします。
 (1)それは、学校の授業の一環として実施しましたか？

○学校の授業の一環として「実施した」が76.4%を占める。



	今回調査		R02度調査		R01度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
実施した	81	76.4	106	72.6	116	66.7
実施していない	25	23.6	38	26.0	57	32.8
不明・無回答	0	0.0	2	1.4	1	0.6
合計 (回答対象件数)	106	100.0	146	100.0	174	100.0

図 「交通環境学習」の学校の授業の一環としての実施

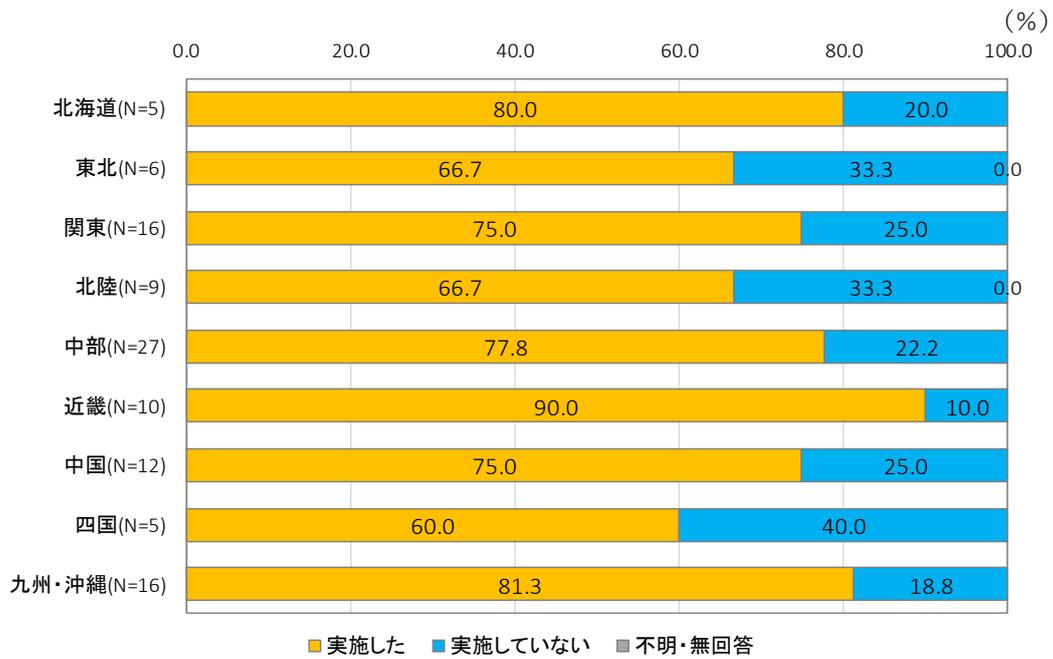


図 地方別「交通環境学習」の学校の授業の一環としての実施

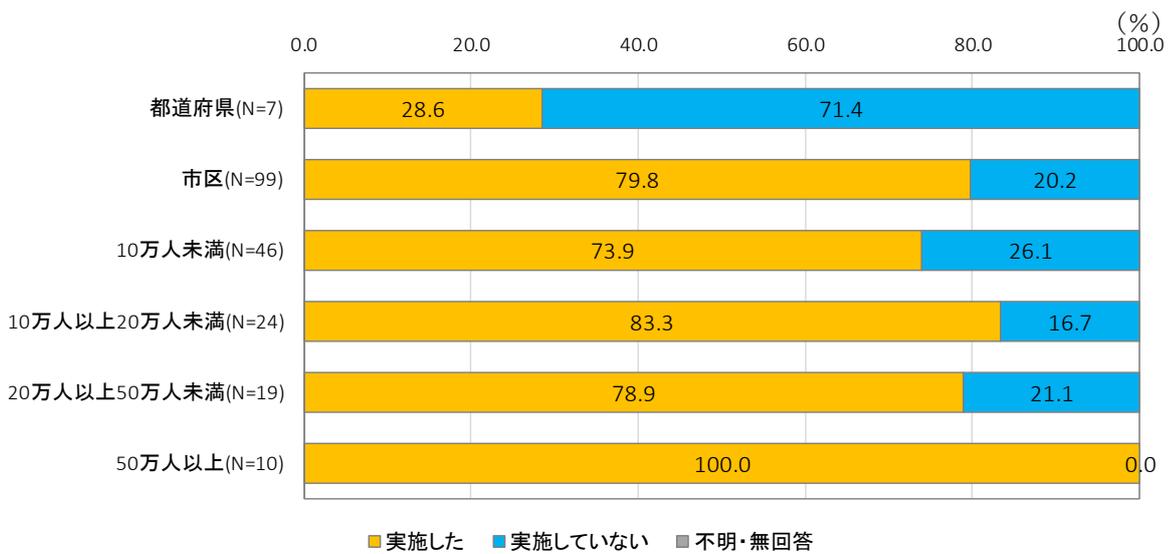


図 人口規模別「交通環境学習」の学校の授業の一環としての実施

②授業の実施主体

((1) で「1」(学校の授業の一環として実施した)とお答えの方にお伺いします。)

副問 授業の実施主体をお答えください。(いくつでも)

○「出前講座として学校からの依頼に対応」が44.4%と最も多く、次いで「貴自治体が学校に依頼して実施」と「各学校が独自カリキュラムで取組」が29.6%の順となっている。

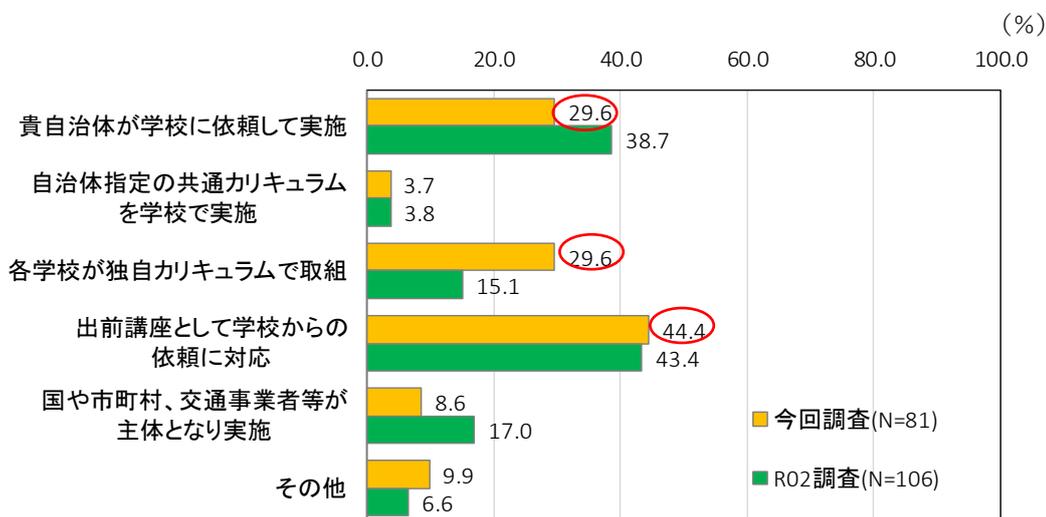


図 授業の実施主体

	今回調査		R02度調査		R01度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
貴自治体が学校に依頼して実施	24	29.6	41	38.7	46	39.7
自治体指定の共通カリキュラムを学校で実施	3	3.7	4	3.8	7	6.0
各学校が独自カリキュラムで取組	24	29.6	16	15.1	27	23.3
出前講座として学校からの依頼に対応	36	44.4	46	43.4	38	32.8
国や市町村、交通事業者等が主体となり実施	7	8.6	18	17.0	27	23.3
その他	8	9.9	7	6.6	11	9.5
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計(回答対象件数)	81	100.0	106	100.0	116	100.0

■「その他」の内容

- ・市から学校や保育園に募集案内し、各学校や保育園からの申請に基づき実施(3件)
- ・生涯学習事業
- ・園外保育の際に実体験として園が実施
- ・交通安全教室と併せて実施
- ・高齢者学級
- ・協議会

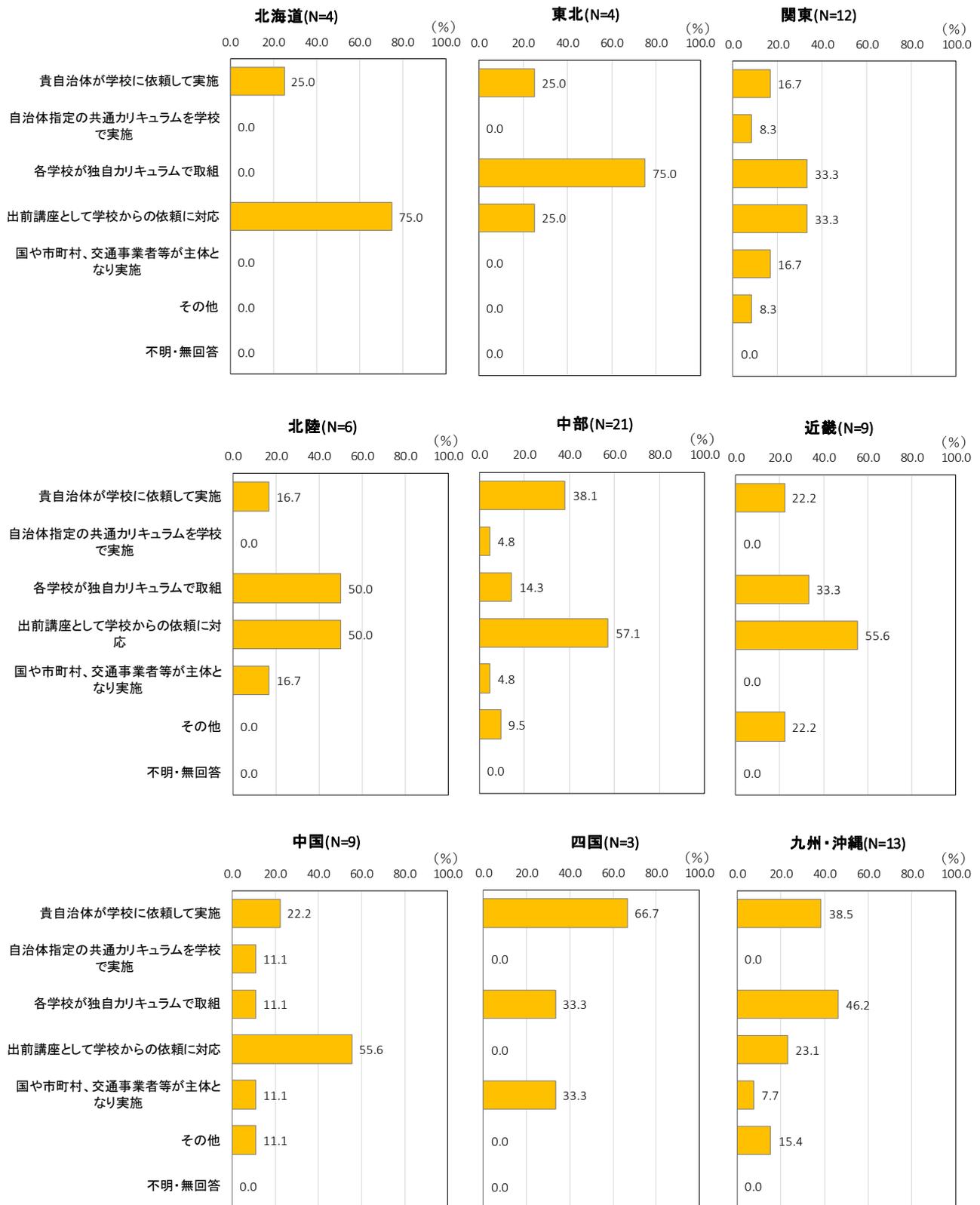


図 地方別 授業の実施主体（複数回答）

③授業以外の実施（自由記述）

(2) 学校の授業以外ではどのような形（フォーラム、バスまつりなど）で実施しましたか？

- 学校の授業以外での実施形式に関する回答は23件あった。
- 最も多かったのは「バスまつり、イベント」で14件あった。

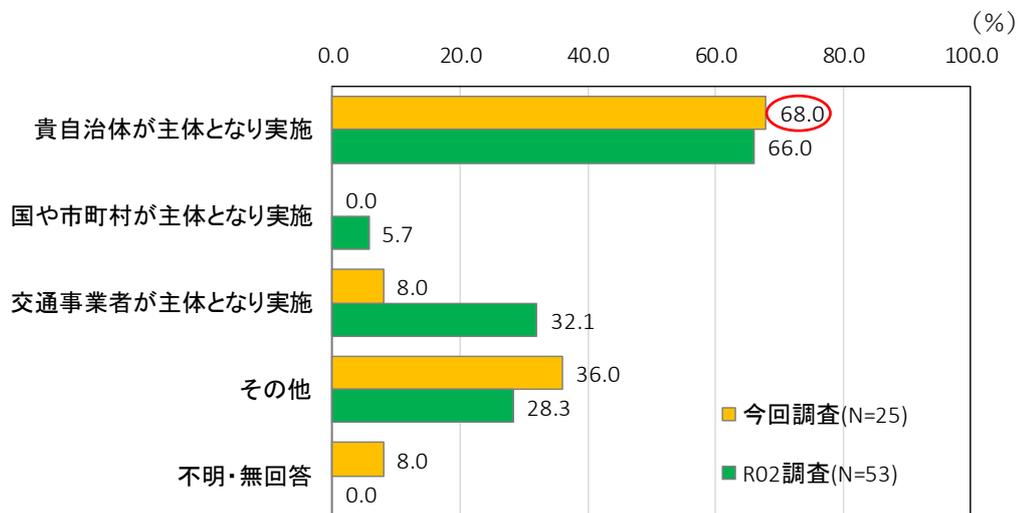
表 学校の授業以外での実施形式

分類項目	件数(件)
バスまつり、イベント	14
放課後や休日、長期休暇を利用した学習	1
学校以外(地域や幼稚園、保育園)への出前講座	3
利用促進キャンペーンの実施	2
コンテスト開催・掲示物	1
その他	2

④授業以外の実施主体

(2) (学校の授業以外での形式) でご回答いただいた方にお伺いします。
 副問 (2) でご回答いただいた活動の実施主体をお答えください。(いくつでも)

○「貴自治体が主体となり実施」が68.0%と最も多くなっている。



	今回調査		R02度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
貴自治体が主体となり実施	17	68.0	35	64.8
国や市町村が主体となり実施	0	0.0	3	5.6
交通事業者が主体となり実施	2	8.0	17	31.5
その他	9	36.0	15	27.8
不明・無回答	2	8.0	0	0.0
合計 (回答対象件数)	25	100.0	53	100.0

図 授業以外の実施主体

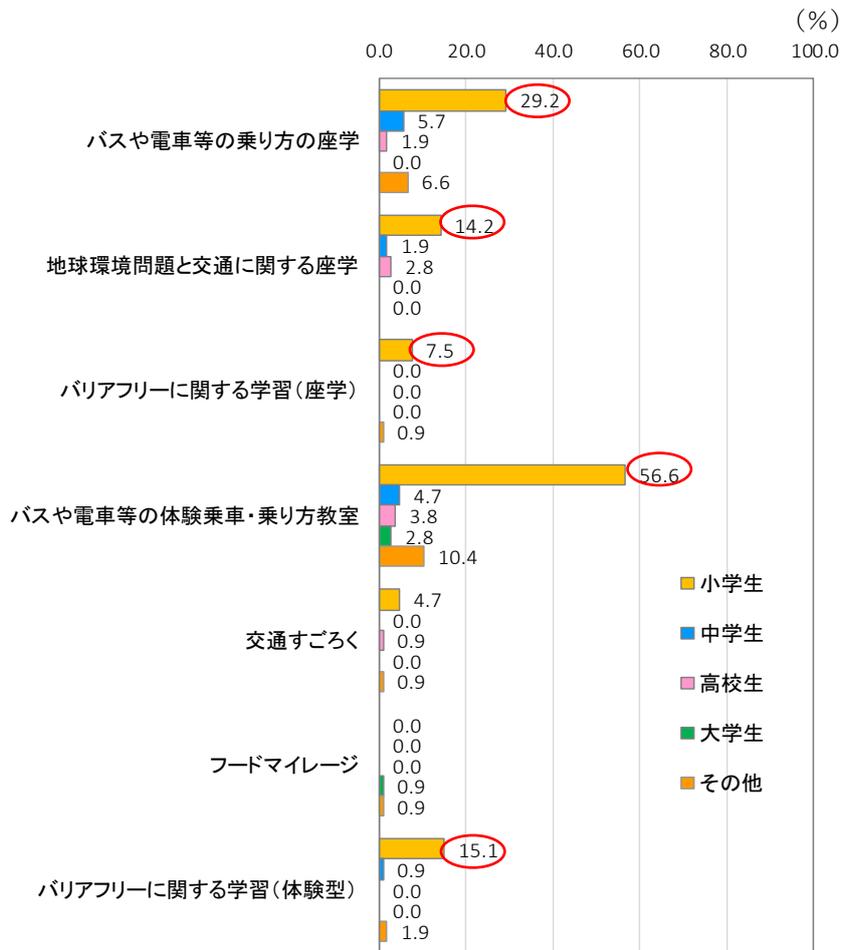
■「その他」の内容

- ・ 鉄道の活性化協議会 (3件)
- ・ 自治体と事業者、イベント会社等と協力 (2件)
- ・ 地域交通活性化協議会 (2件)
- ・ 学校 (1件)
- ・ 地域団体 (1件)

⑤実施した「交通環境学習」の対象者と内容

問3 実施した「交通環境学習」の対象者と内容は？
 (枠内の該当する部分に○をご記入ください)

○小学生を対象とした「バスや電車等の体験乗車・乗り方教室」が最も多く56.6%を占め、「バスや電車等の乗り方の座学」が29.2%、「バリアフリーに対する学習(体験型)」が15.1%、「地球環境問題と交通に関する座学」が14.2%と続く。



	回答者数(件)								構成比(%)								
	園児	小学生	中学生	高校生	大学生	その他	不明・無回答	実施団体数	園児	小学生	中学生	高校生	大学生	その他	不明・無回答	実施団体数	
座学	バスや電車等の乗り方の座学	6	31	6	2	0	7	68	106	5.7	29.2	5.7	1.9	0.0	6.6	64.2	100.0
	地球環境問題と交通に関する座学	2	15	2	3	0	0	86	106	1.9	14.2	1.9	2.8	0.0	0.0	81.1	100.0
	バリアフリーに関する学習(座学)	2	8	0	0	0	1	98	106	1.9	7.5	0.0	0.0	0.0	0.9	92.5	100.0
体験型	バスや電車等の体験乗車・乗り方教室	14	60	5	4	3	11	42	106	13.2	56.6	4.7	3.8	2.8	10.4	39.6	100.0
	交通すごろく	0	5	0	1	0	1	100	106	0.0	4.7	0.0	0.9	0.0	0.9	94.3	100.0
	フードマイレージ	0	0	0	0	1	1	105	106	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.9	99.1	100.0
	バリアフリーに関する学習(体験型)	1	16	1	0	0	2	90	106	0.9	15.1	0.9	0.0	0.0	1.9	84.9	100.0
その他	その他1	9	22	10	9	4	10	74	106	8.5	20.8	9.4	8.5	3.8	9.4	69.8	100.0
	その他2	1	3	1	0	0	3	100	106	0.9	2.8	0.9	0.0	0.0	2.8	94.3	100.0

図 「交通環境学習」の対象者と内容

■「その他」の内容

- ・ イベント（スタンプラリー、謎解きなど）（7件）
- ・ 無料乗車券、フリーきっぷの配布（4件）
- ・ のりもの・のりかたガイドブックの配布
- ・ 市内鉄道路線に関するセミナー
- ・ 3年生社会科（市の様子や市の移り変わり）
- ・ 北海道新幹線について
- ・ 地域公共交通を取り巻く諸課題について
- ・ 日常の移動距離（歩数）と交通に関する座学
- ・ 身近な公共交通の課題について生徒自ら探求し、調査結果を発表する。
- ・ 市内公共交通施策の現状と課題
- ・ 授業の一環。「探求活動」としてテーマを設定。（コロナ渦でのまちづくりについて）
- ・ 夏休み自由研究お手伝い講座（題材：鉄道）
- ・ 5年生社会科（情報を生かす産業）
- ・ 授業参観での鉄道講座（地元の鉄道の歴史）
- ・ 市が抱える公共交通における課題を生徒が考え、発表を行った。
- ・ 公共交通を使って、現地に行き新東名高速道路の現場見学
- ・ 切符の買い方、鉄道の知識を学ぶ講座及び仕事体験
- ・ 通学時に必要な交通知識の習得・自転車に乗るときのルールについて等の座学及び体験学習
- ・ 内輪差等大型車両の危険性の実演
- ・ 公共交通を使って、バス営業所に行き、整備工場など営業所の裏側を見学する。
- ・ 電気自動車の見学
- ・ バスの部品や模型の展示、鉄道の模型の展示
- ・ ぬりえ掲出
- ・ バス車内での絵画展
- ・ 小学校教員向けに教材の使い方に関する研修会を開催。
- ・ 児童が事前に考えてきたバスに関する質問に答えるもの
- ・ バスの秘密機能
- ・ 公共交通のコロナ対策について
- ・ 公共交通（バス）利用促進
- ・ 令和3年度に向けた先生との意見交換
- ・ 全県民向け広報事業「わったーバス党」

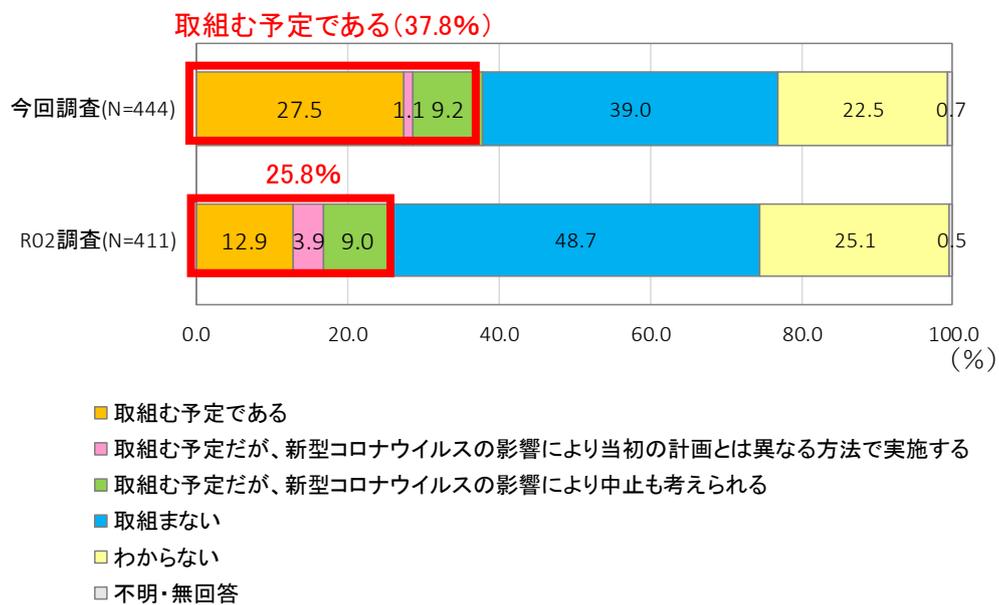
(2) 今後の「交通環境学習」について

① 今後「交通環境学習」に取り組む意向

問4 今後の「交通環境学習」の取組みについてお伺いします。

(1) 今年度（令和3年度）、「交通環境学習」に取り組む予定はありますか？（1つに○）

- 「取り組まない」が39.0%と最も高いものの、「取り組む予定である」が37.8%と昨年度より12.0ポイント増加している。
- 「取り組む予定であるが、新型コロナウイルスの影響により当初の予定とは異なる方法で実施する」「取り組む予定であるが、新型コロナウイルスの影響により中止も考えられる」は合わせて10.3%となっており、取り組む予定がある団体のうち約3割は新型コロナウイルスの影響により取組内容の変更や中止を検討している。



	今回調査		R02 調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
取り組む予定である	122	27.5	53	12.9
取り組む予定だが、新型コロナウイルスの影響により当初の計画とは異なる方法で実施する	5	1.1	16	3.9
取り組む予定だが、新型コロナウイルスの影響により中止も考えられる	41	9.2	37	9.0
取り組まない	173	39.0	200	48.7
わからない	100	22.5	103	25.1
不明・無回答	3	0.7	2	0.5
合計	444	100.0	411	100.0
取り組む予定あり	168	37.8	106	25.8

図 「交通環境学習」に取り組む予定

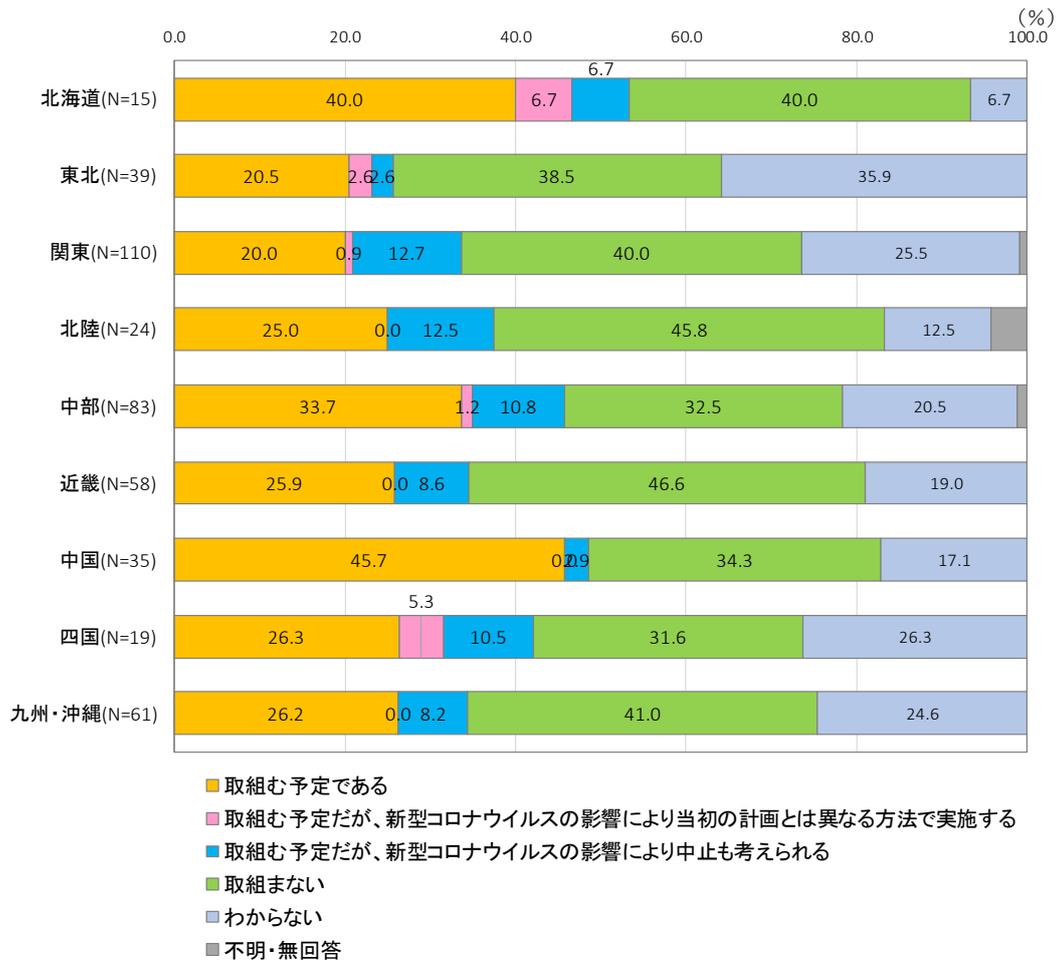


図 地方別 「交通環境学習」に取組む予定

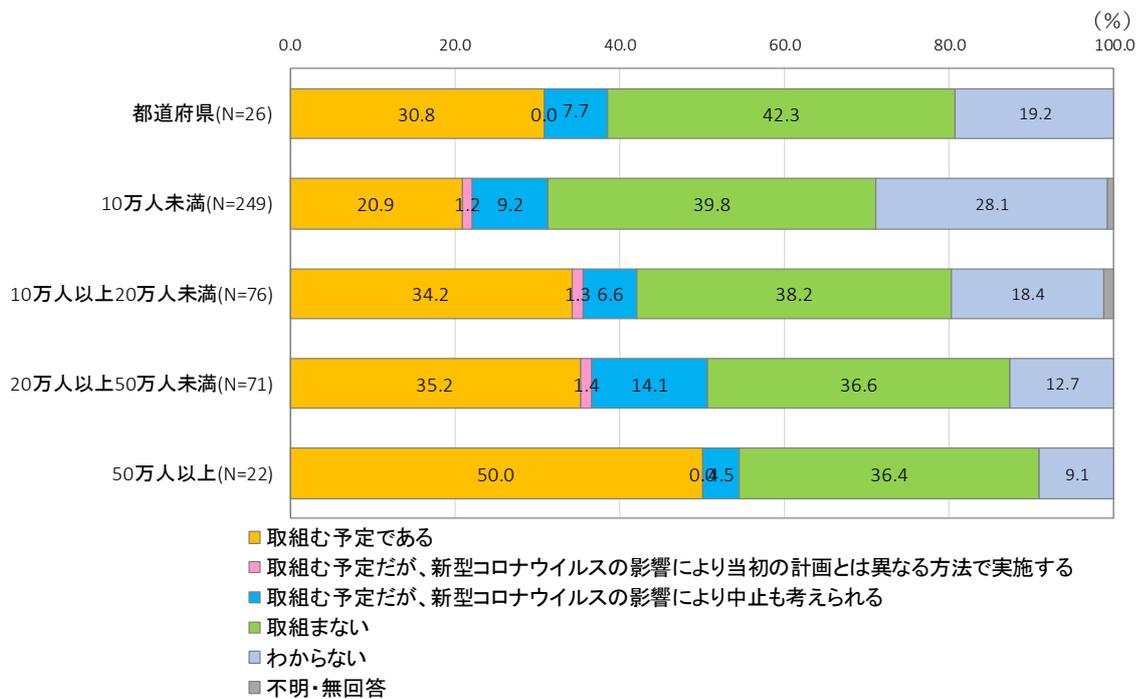


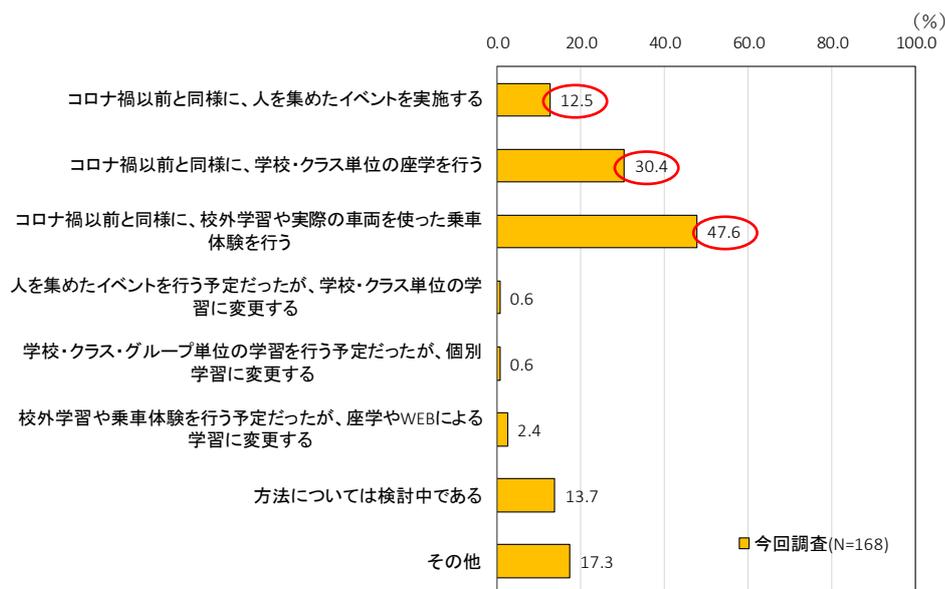
図 人口規模別 「交通環境学習」に取組む予定

②今年度の「交通環境学習」の取組み方法

副問 4.1 (1) で「1」「2」「3」とお答えの方にお伺いします。

今年度の「交通環境学習」は、どのような方法で取組む予定ですか。近いものをお答えください。(いくつでも)

○コロナ禍以前と同様の方法で取組むという回答が多く、「校外学習や実際の車両を使った乗車体験を行う」が47.6%、「学校・クラス単位の座学を行う」が30.4%、「人を集めたイベントを実施する」が12.5%となっている。



	回答数 (件)	構成比 (%)
コロナ禍以前と同様に、人を集めたイベントを実施する	21	12.5
コロナ禍以前と同様に、学校・クラス単位の座学を行う	51	30.4
コロナ禍以前と同様に、校外学習や実際の車両を使った乗車体験を行う	80	47.6
人を集めたイベントを行う予定だったが、学校・クラス単位の学習に変更する	1	0.6
学校・クラス・グループ単位の学習を行う予定だったが、個別学習に変更する	1	0.6
校外学習や乗車体験を行う予定だったが、座学やWEBによる学習に変更する	4	2.4
方法については検討中である	23	13.7
その他	29	17.3
不明・無回答	0	0.0
合計	168	100.0

図 「交通環境学習」の取組方法

■「その他」の内容

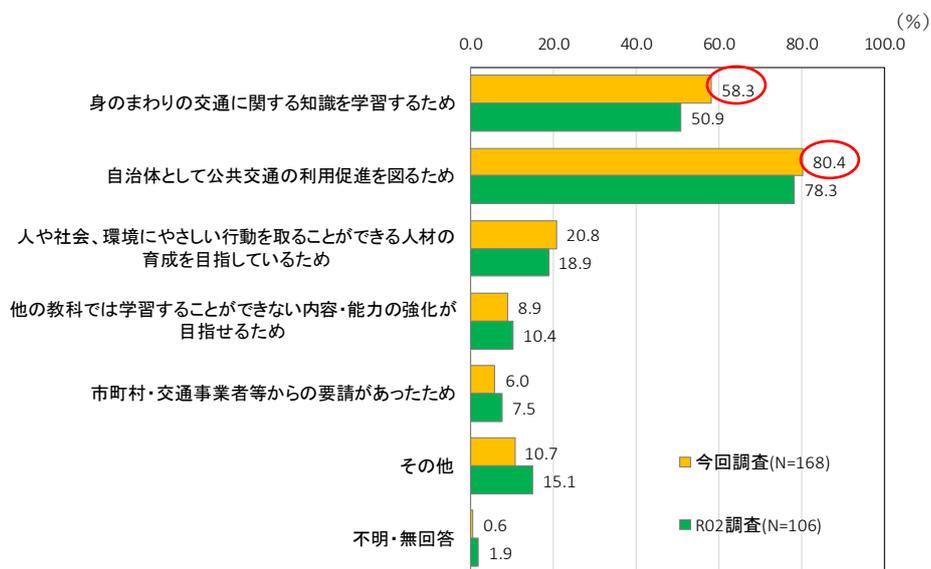
- ・感染症に対応したイベント（フォトコンテストなど）
- ・小学校にバスや鉄道の運賃箱等の模型を貸し出し、授業の中で乗り方教室を実施してもらう予定。
- ・グループを分け、座学と乗車体験を交互に行う。
- ・①コロナ感染拡大防止のための対策を行い、集客型のイベントを実施済。なお、緊急事態措置の適用により一時期中止。②クイズ用紙を配布し回答を募集（集客型ではないイベントの実施）
- ・昨年同様、Zoomで研修会開催。
- ・学校外のイベント（環境フェア）においてバスの乗車体験を、新型コロナウイルス感染症防止対策を行って実施
- ・アンケートを利用した交通環境学習
- ・自由参加から事前申し込みへと変更
- ・その時点でのコロナの影響を考慮し、人を集めたイベントや学校、クラス単位での座学などの取り組みを検討する。
- ・学校や自治会から依頼があれば、コロナ禍以前と同様の形で検討する。

③コロナの影響がある中で「交通環境学習」を実施する理由

副問 4.2 (1) で「1」「2」「3」とお答えの方にお伺いします。

新型コロナウイルスの影響で、学校の授業・イベント自体が縮小されている中において、交通環境学習を実施する理由は何ですか？（いくつでも）

○「自治体として公共交通の利用促進を図るため」が80.4%と最も多く、次いで「身のまわりの交通に関する知識を学習するため」が58.3%となった。



	今回調査		R02度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
身のまわりの交通に関する知識を学習するため	98	58.3	54	50.9
自治体として公共交通の利用促進を図るため	135	80.4	83	78.3
人や社会、環境にやさしい行動を取ることができる人材の育成を目指しているため	35	20.8	20	18.9
他の教科では学習することができない内容・能力の強化を目指すため	15	8.9	11	10.4
市町村・交通事業者等からの要請があったため	10	6.0	8	7.5
その他	18	10.7	21	19.8
不明・無回答	1	0.6	2	1.9
合計	168	100.0	106	100.0

図 「交通環境学習」を実施する理由

■「その他」の内容

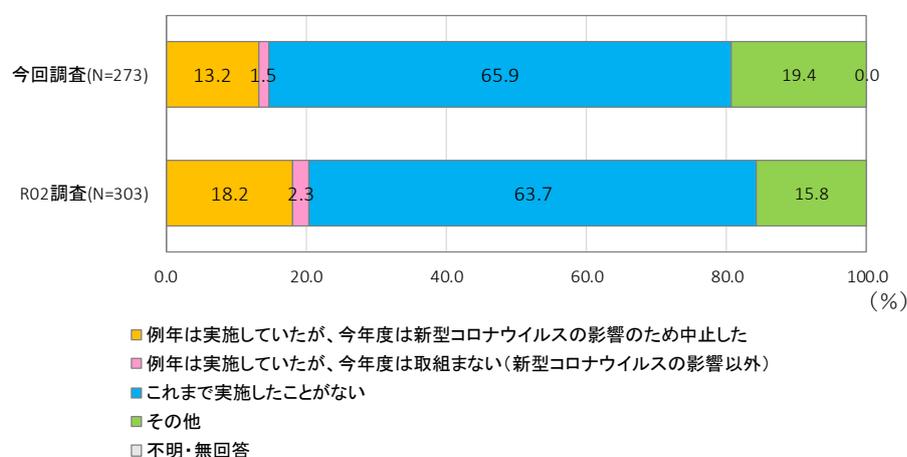
- ・学校からの要請があったため（7件）
- ・新型コロナウイルス感染症に配慮した実施方法（3件）
- ・感染状況が落ち着いているため（2件）
- ・公共交通の利用促進、愛着醸成（4件）
- ・事業者の判断 ・校外学習の事前学習として必要なため

④これまでの「交通環境学習」への取組み

副問 4.3 (1) で「4」「5」とお答えの方にお伺いします。

これまでの「交通環境学習」への取組について教えてください。(1つに〇)

- 今年度の交通環境学習について、「取り組まない」「わからない」の回答者にこれまでの取組について聞いたところ、「これまで実施したことがない」が65.9%と最も高くなっている。
- 「例年は実施していたが、今年度は新型コロナウイルスの影響のため中止した」は13.2%で昨年度より5.0ポイント減少しており、新型コロナウイルスの交通環境学習の実施への影響はやや減っていることがわかる。
- 地方別に見ると、中部では、「例年は実施していたが、今年度は新型コロナウイルスの影響のため中止した」と回答した自治体が11団体あった。



	今回調査		R02度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
例年は実施していたが、今年度は新型コロナウイルスの影響のため中止した	36	13.2	55	18.2
例年は実施していたが、今年度は取り組まない(新型コロナウイルスの影響以外)	4	1.5	7	2.3
これまで実施したことがない	180	65.9	193	63.7
その他	53	19.4	48	15.8
不明・無回答	0	0.0	0	0.0
合計	273	100.0	303	100.0

図 これまでの交通環境学習の取組み

■「その他」の主な内容

- ・例年ではないが、過去に実施したことはある(今年度は取り組まない)(22件)
- ・学校、自治体、教育委員会等からの要請があれば実施している(14件)
- ・各学校の授業や、他の事業の中で独自に実施している(9件)
- ・未定・検討中(3件)
- ・費用対効果や要員の確保、車両の準備が難しい

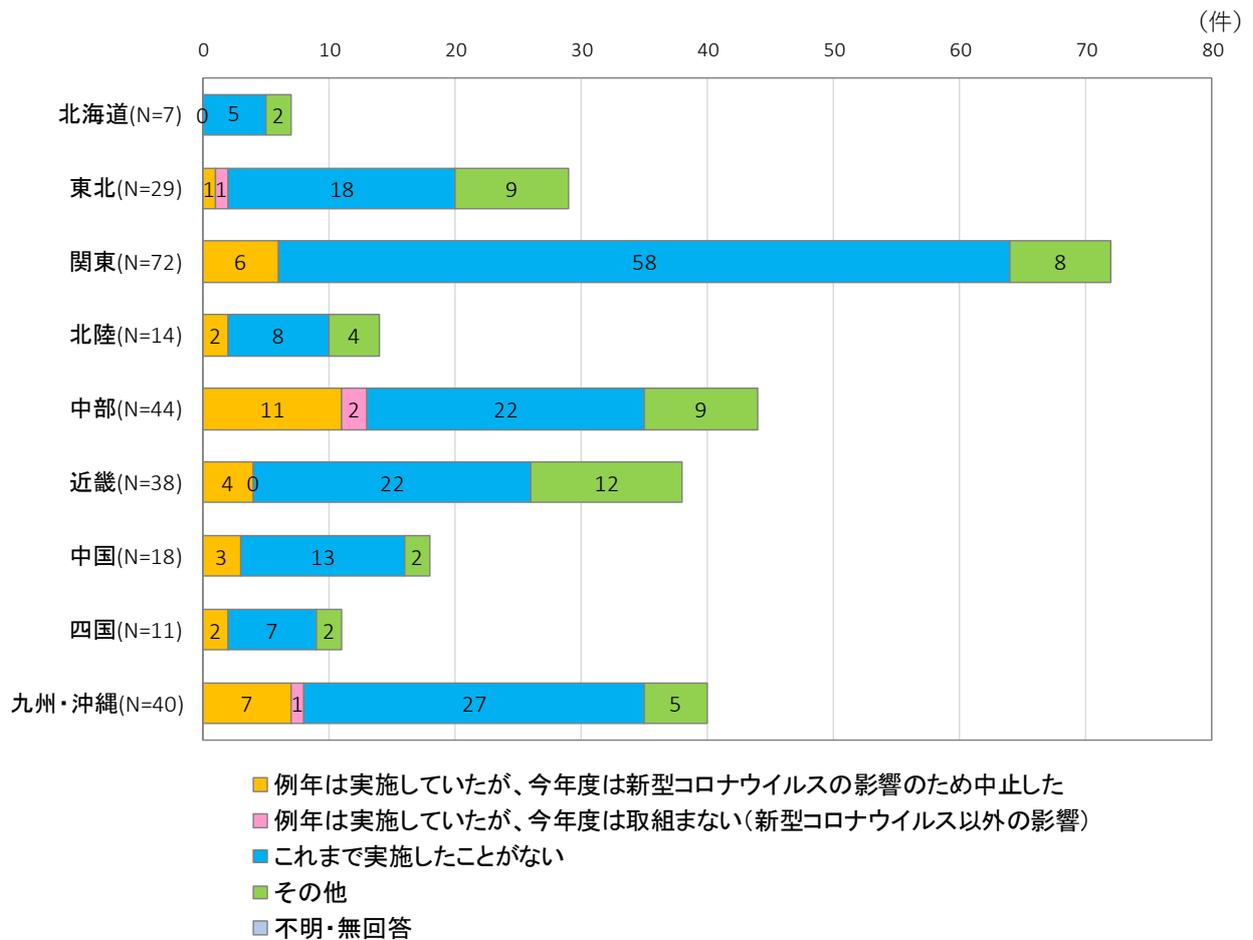
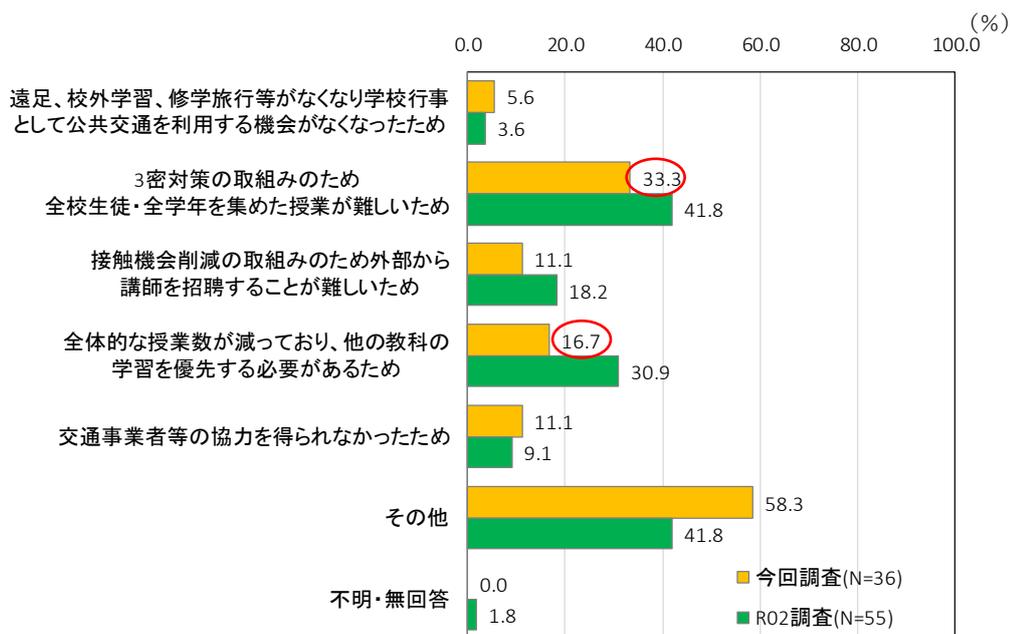


図 地方別 これまでの交通環境学習の取組

⑤ 「交通環境学習」への新型コロナウイルスの影響

副問 4.4 副問で 4.3 「1」とお答えの方にお伺いします。
 新型コロナウイルスの影響により交通環境学習が実施できなくなった理由としては、どのようなものがありますか？（いくつでも）

- 前問で「例年は実施していたが、今年度は新型コロナウイルスの影響のため中止した」の回答者にその理由を聞いたところ、「3密対策の取組みのため全校生徒・全学年を集めた授業が難しいため」が 33.3%と最も多くなっている。
- 「その他」の内容として、「イベント自体が中止になったため」の回答が 11 件挙げられた。



	今回調査		R02 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
遠足、校外学習、修学旅行等がなくなり学校行事として公共交通を利用する機会がなくなったため	2	5.6	2	3.6
3密対策の取組みのため全校生徒・全学年を集めた授業が難しいため	12	33.3	23	41.8
接触機会削減の取組みのため外部から講師を招聘することが難しいため	4	11.1	10	18.2
全体的な授業数が減っており、他の教科の学習を優先する必要があるため	6	16.7	17	30.9
交通事業者等の協力を得られなかったため	4	11.1	5	9.1
その他	21	58.3	23	41.8
不明・無回答	0	0.0	1	1.8
合計	36	100.0	55	100.0

図 「交通環境学習」への新型コロナウイルスの影響

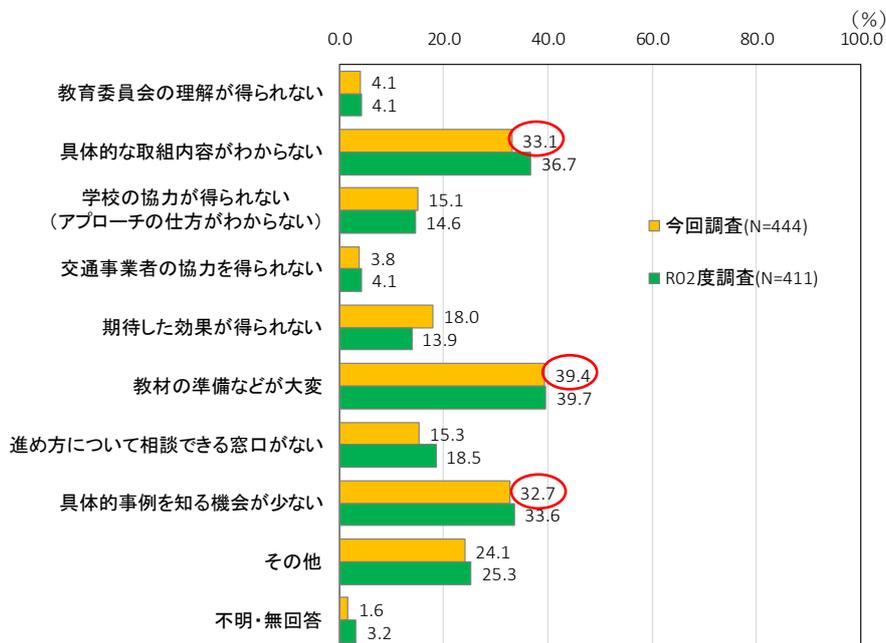
■「その他」の主な内容

- ・ イベント自体が中止になったため（11件）
- ・ 感染拡大防止のため（8件）
- ・ 緊急事態宣言等により実施が困難となった
- ・ 交通事業者の経営状態が厳しかったため

⑥ 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁

問5 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁は何ですか？（いくつでも）

○「教材の準備などが大変」が39.4%と最も高く、次いで「具体的な取組内容がわからない」が33.1%、「具体的事例を知る機会が少ない」が32.7%となっている。



	今回調査		R02度調査		R01度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)
教育委員会の理解が得られない	18	4.1	17	4.1	25	5.8
具体的な取組内容がわからない	147	33.1	151	36.7	140	32.7
学校の協力が得られない (アプローチの仕方がわからない)	67	15.1	60	14.6	55	12.9
交通事業者の協力を得られない	17	3.8	17	4.1	17	4.0
期待した効果が得られない	80	18.0	57	13.9	62	14.5
教材の準備などが大変	175	39.4	163	39.7	168	39.3
進め方について相談できる窓口がない	68	15.3	76	18.5	67	15.7
具体的事例を知る機会が少ない	145	32.7	138	33.6	131	30.6
その他	107	24.1	104	25.3	103	24.1
不明・無回答	7	1.6	13	3.2	17	4.0
合計 (回答対象件数)	444	100.0	411	100.0	428	100.0

図 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁

■「その他」の主な項目

分類項目	件数（件）
担当課の人手不足、担当部署や体制がない	23
効果の把握方法	12
予算の確保	11
関係機関との調整・学校や教育委員会の理解	7
授業時間が確保できない	5
新型コロナウイルスへの対応方法	3
「交通環境学習」への関心の低さ、周知方法	3
乗車体験ができるスペースがない	2
学習やイベントの内容	2
課題や障壁はない・把握していない	32
その他	7

○人口規模別にみると、いずれの人口規模においても「教材の準備が大変」の割合が高くなっている。10万人未満では、「具体的な取組み方法がわからない」、10万人以上20万人未満では「具体的事例を知る機会がない」も多く挙げられている。

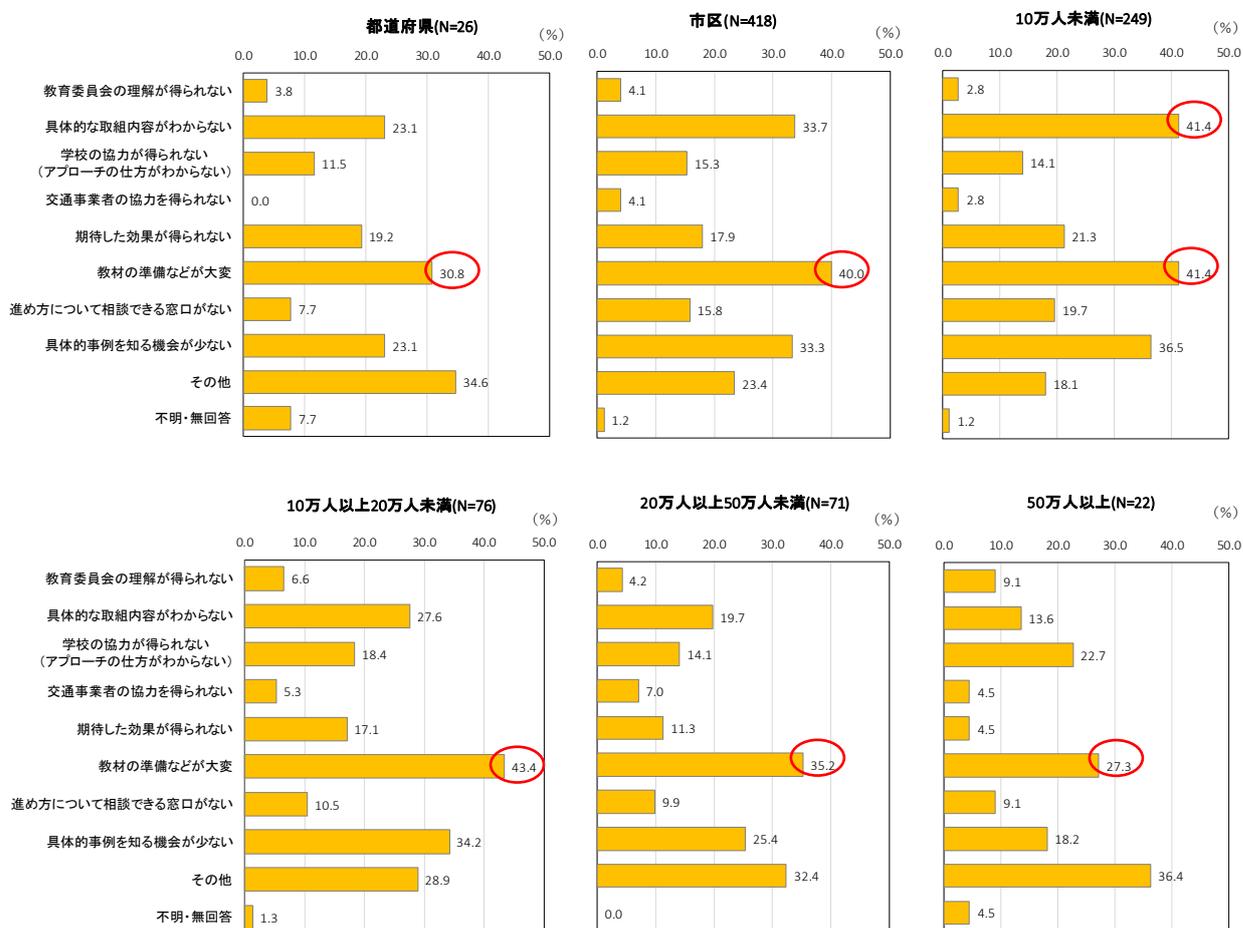


図 人口規模別「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁（複数回答）

⑦「交通環境学習」に取り組む場合に予想される問題点や支援してほしい事柄（自由記述）

問6 今後、貴自治体において「交通環境学習」に取り組む場合に、予想される問題点や、支援してほしい事柄などについて、具体的に教えてください。

○取組に向けて予想される問題点や支援してほしい内容について下記の分類で自由意見を整理した。問題や課題に関する意見が107件あり、うち「学校や教育委員会の理解・協力・調整」に関することが最も多く23件の意見があった。また、新型コロナウイルス感染症対策との両立に関連した意見も14件あった。

○支援してほしい事柄に関する意見は79件で、「学習プログラム・教材・ノベルティの提供」「事例紹介」「費用負担・補助」に関する意見が多く挙げられた。

※なお、ひとつの意見に複数の分類が重なっているため、回答自治体数の合計と一致しない。

表 取組に向けて予想される問題点や支援要望内容（自由記述内容）

分類項目	件数(件)
予想される問題や課題	107
学校や教育委員会の理解・協力・調整	23
予算の確保	16
コロナ関連	14
公共交通が身近でない・環境が整っていない	9
効果への疑問・効果のわかりにくさ	8
学習内容・教材の検討	7
担当課の人手不足	7
ノウハウ不足	6
交通事業者との調整	5
庁内の理解、調整	5
実施校・参加者の確保	4
その他	3
支援してほしい事柄	79
学習プログラム・教材・ノベルティの提供	23
事例紹介	18
費用負担・補助	13
ノウハウ提供、相談体制、研修会	11
講師等人員の派遣	7
学校による主体的取組の促進	1
その他	6

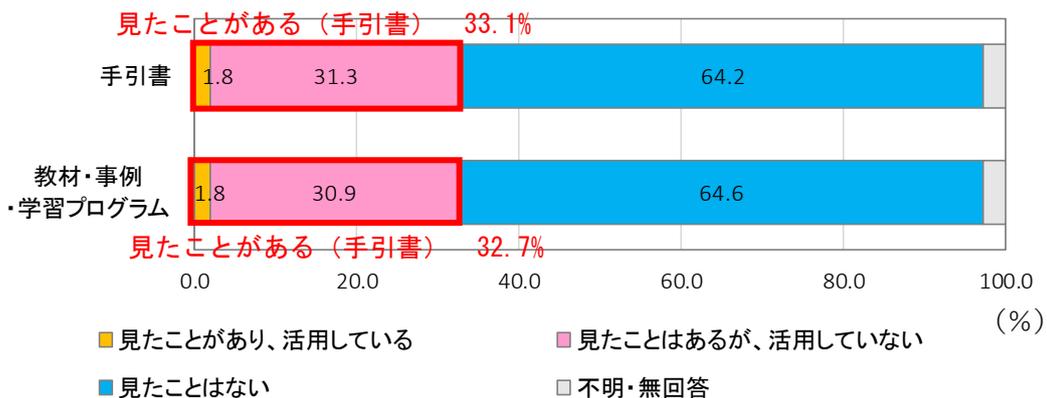
(3) 「交通環境学習」の教材の活用状況について

1) 交通エコモ財団が提供する教材

①交通エコモ財団が提供する教材（手引書）の認知度

問7 エコモ財団 HP から入手できる資料についてお伺いします。
 (1)エコモ財団 HP で入手できる、「交通環境学習手引書」（本編または概要版）を見たことがありますか？（1つに○）
 (2)エコモ財団 HP で入手できる、教材・事例・学習プログラムを見たことがありますか？（1つに○）

- 手引書では、「見たことはない」が64.2%と最も高く、次いで「見たことはあるが、活用していない」が31.3%、「見たことがあり、活用している」が1.8%となっている。「見たことがある」を合わせると約33.1%となっている。
- 教材・事例・学習プログラムにおいても、手引書とほぼ同様の結果となっている。
- 交通環境学習の実施状況別に教材の認知度を見ると、「これまで実施したことがない」自治体と比較して、「実施した」「過去に実施したことがある」自治体では、教材を「見たことがある」回答が多くなっている。



	手引書		教材・事例・学習プログラム	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
見たことがあり、活用している	8	1.8	8	1.8
見たことはあるが、活用していない	139	31.3	137	30.9
見たことはない	285	64.2	287	64.6
不明・無回答	12	2.7	12	2.7
合計	444	100.0	444	100.0

図 交通エコモ財団が提供する教材の認知度

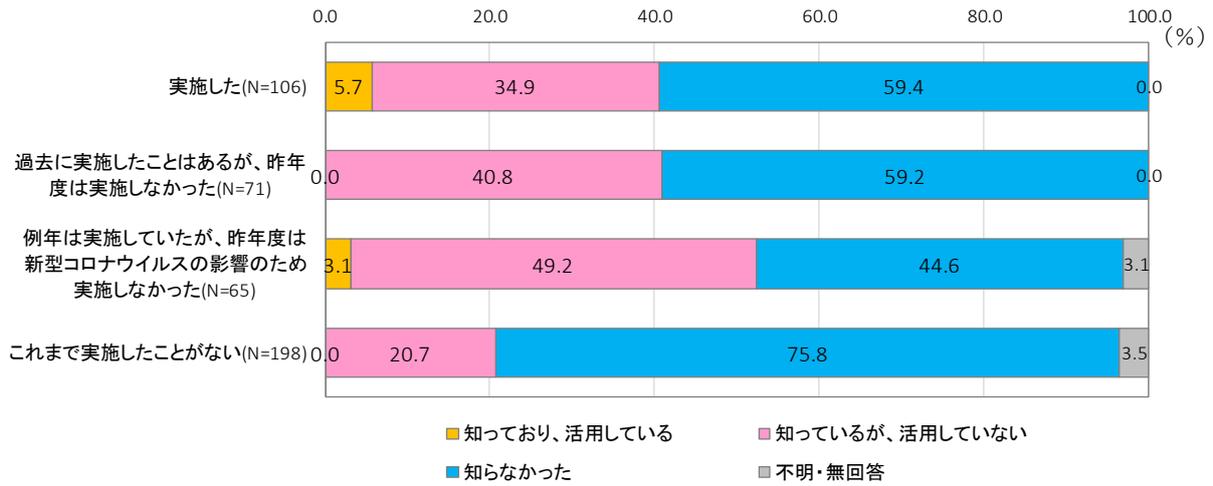


図 「交通環境学習」の実施状況別 手引書の認知度

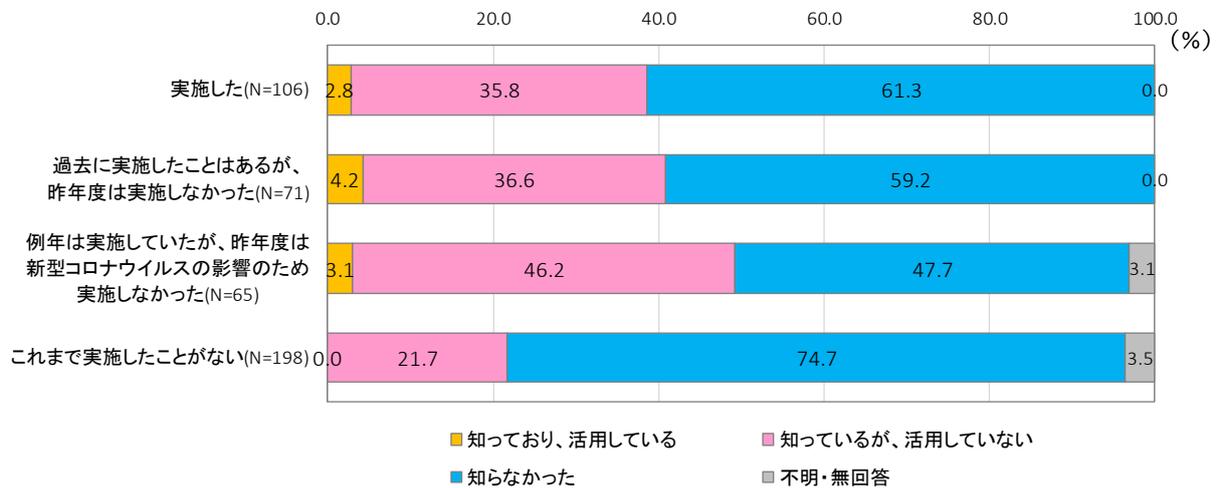


図 「交通環境学習」の実施状況別 教材・事例・学習プログラムの認知度

2)教材に対する意見・要望（自由記述）

問8 交通環境学習に用いる教材について、「こういったものが欲しい」「こういったものがあれば活用できる」等のご意見・ご要望があればご記入ください。

- 教材の内容に望むこととしては、「幅広い年代に対応した教材、それぞれの年代に対応した教材」、「地域の実情にあった教材、データ」が多く挙げられた。
- 教材の形式としては、「動画教材」を望む意見が多く挙げられた。

表 教材に対する意見・要望

分類項目		件数(件)
内容	幅広い年代に対応した教材、それぞれの年代に対応した教材	9
	地域の実情にあった教材、データ	6
	学校関係者向けの教材、事例	4
	その他	6
形式	動画教材	8
	タブレットに対応した教材	1
	その他	1
回答件数		35

2 教育委員会向けアンケート

2.1 調査の目的

全国の教育委員会を主体としたにおける交通環境学習の継続的な実施状況及び交通環境学習を普及していく上での課題把握を目的とする。

2.2 調査の設計

- 調査対象 都道府県及び市（東京 23 区含む）
- 調査票本数 862 件（47 都道府県、792 市、東京 23 区）
- 調査方法 配布：郵送配布
回収：選択方式（インターネット、FAX、メール）

※メール回答の場合は、MM 学習ポータルサイトからダウンロードできる電子データの調査票を用いる。より回答が簡易にできるよう、配布する電子データの調査票はエクセル形式とした。

- 調査時期 令和 3 年 10 月 27 日（水）～令和 3 年 11 月 22 日（月）

2.3 調査票の配布・回収の状況

- 配布件数 862 件
- 有効回収件数（率） 111 件（12.9%）

表 配布件数・有効回収件数

	配布件数 (件)	有効回答	
		回収数 (件)	構成比 (%)
インターネット	862	92	82.9
FAX		12	10.8
メール		7	6.3
総計	862	111	100.0

<参考> 過年度調査の回収方法と回収率 ※調査方法、配布方法は今年度調査を同様

	令和 2 年度調査		令和元年度調査	
	回収数 (件)	構成比 (%)	回収数 (件)	構成比 (%)
インターネット	70	73.7	60	60.0
FAX	20	21.1	33	33.0
メール	5	5.3	7	7.0
有効回収件数	95	100.0	100	100.0
	回収率 11.0%		回収率 11.6%	

2.4 調査項目及び調査票の設計

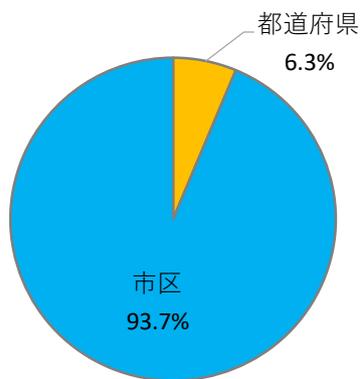
調査項目は、昨年度調査の設問を基本として、新型コロナウイルス感染症の影響を含めた今後

の「交通環境学習」についての設問を追加した。

2.5 調査結果

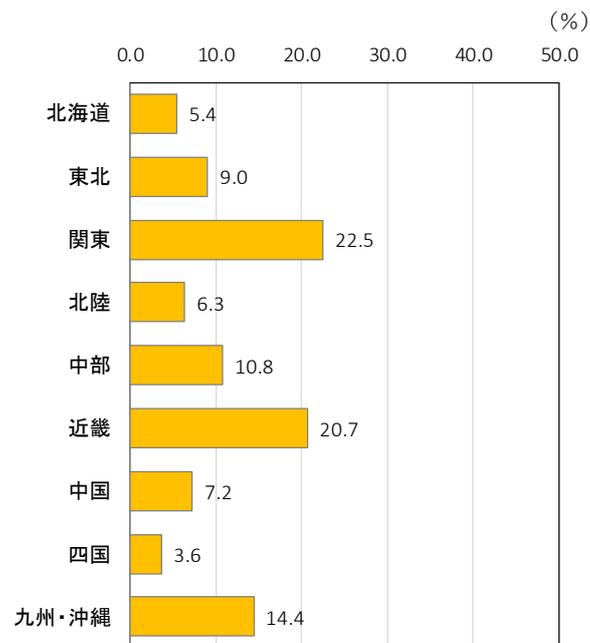
■回答者について

- 「都道府県」から7件、「市区」から104件の回答を得た。
- 構成比を地域別に見ると、「関東」が22.5%、「近畿」が20.7%と多くなっている。
- 人口規模別に見ると、「10万人未満」が61.3%と最も多く、次いで「10万人以上20万人未満」が18.0%となっている。



	今回調査		R02 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
都道府県	7	6.3	1	1.1
市区	104	93.7	94	98.9
合計	111	100.0	95	100.0

図 回答自治体



	今回調査		R02 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
北海道	6	5.4	5	5.3
東北	10	9.0	12	12.6
関東	25	22.5	19	20.0
北陸	7	6.3	8	8.4
中部	12	10.8	19	20.0
近畿	23	20.7	14	14.7
中国	8	7.2	5	5.3
四国	4	3.6	5	5.3
九州・沖縄	16	14.4	8	8.4
不明・無回答	0	0.0	0	0.0
合計	111	100.0	95	100.0

図 地方種別



	今回調査		R02 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
都道府県	7	6.3	1	1.1
10 万人未満	68	61.3	67	70.5
10 万人以上 20 万人未満	20	18.0	10	10.5
20 万人以上 50 万人未満	11	9.9	15	15.8
50 万人以上	5	4.5	2	2.1
不明・無回答	0	0.0	0	0.0
合計	111	100.0	95	100.0

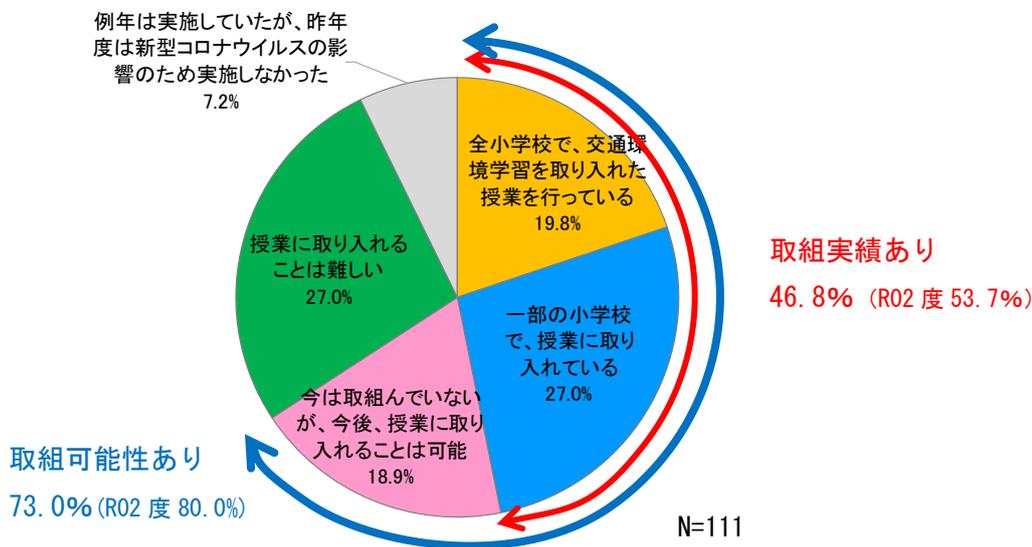
図 人口規模別

(1) 「交通環境学習」の取組状況

1) 「交通環境学習」の取組状況

問1 貴教育委員会が所管する小学校では、「交通環境学習」に取り組んでいますか？（1つに○）

- 交通環境学習の取組状況は、「一部の小学校で、授業に取り入れている」が27.0%、「全小学校で、交通環境学習を取り入れた授業を行っている」が19.8%、「今は取組んでいないが、今後授業に取り入れることは可能」が18.9%、「授業に取り入れることは難しい」が27.0%となっている。
- 全小学校または一部で授業を行っている取組実績のある教育委員会は46.8%で、昨年度調査の53.7%と比較して6.9ポイント減少している。
- 取組実績のある教育委員会及び、今後授業に取り入れることは可能な取組可能性のある教育委員会は73.0%と、昨年度の80.0%から7.0ポイント減少している。



	今回調査		R02度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
全小学校で、交通環境学習を取り入れた授業を行っている	22	19.8	18	18.9
一部の小学校で、授業に取り入れている	30	27.0	33	34.7
今は取組んでいないが、今後、授業に取り入れることは可能	21	18.9	25	26.3
授業に取り入れることは難しい	30	27.0	19	20.0
不明・無回答	8	7.2	0	0.0
合計	111	100.0	95	100.0

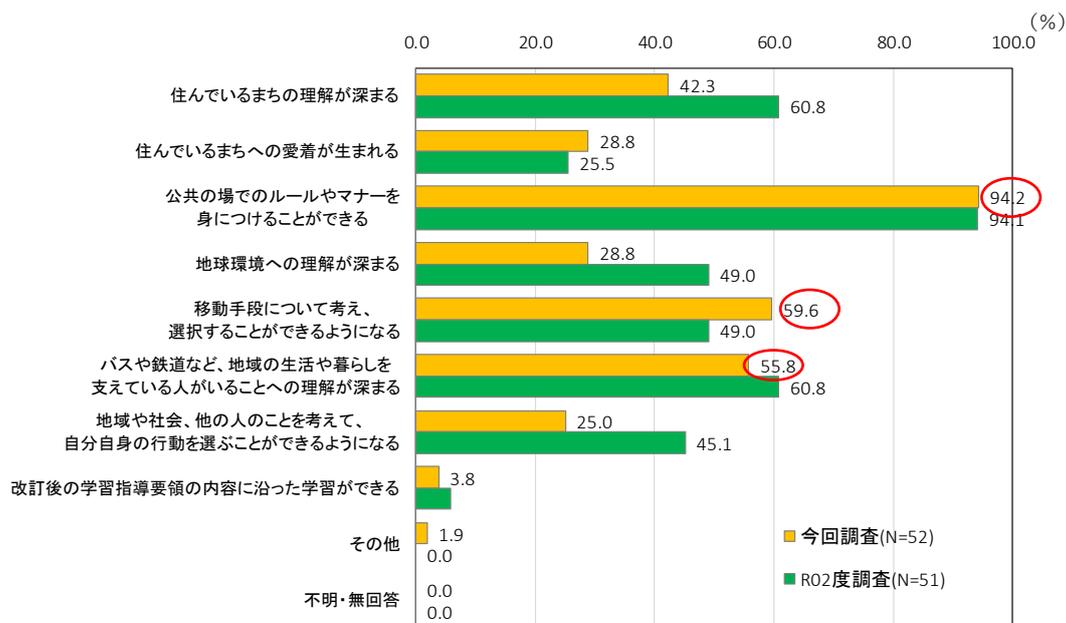
図 「交通環境学習」の取組状況

2) 交通環境学習の効果

(問1で「全小学校で交通環境学習を取り入れた授業を行っている」「一部の小学校で、授業に取り入れている」と回答した教育委員会のみ)

問2 「交通環境学習」には、どのような効果があるとお考えですか。

○「公共の場でのルールやマナーを身に着けることができる」が94.2%と最も多く、次いで「移動手段について考え、選択することができるようになる」が59.6%、「バスや鉄道など、地域の生活や暮らしを支えている人がいることへの理解が深まる」が55.8%となった。



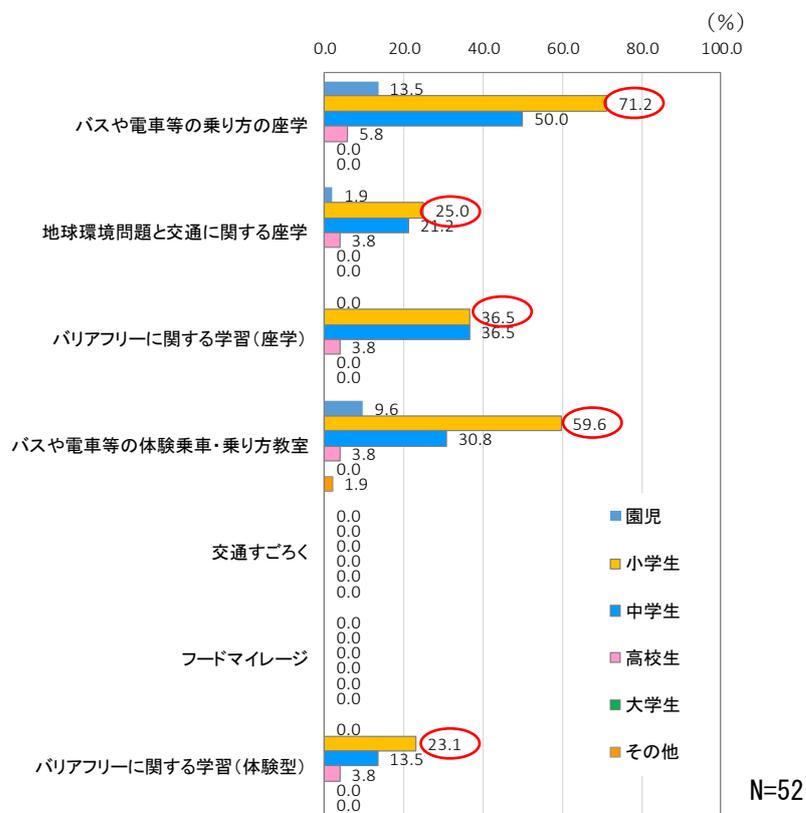
	今回調査		R02度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
住んでいるまちの理解が深まる	22	42.3	31	60.8
住んでいるまちへの愛着が生まれる	15	28.8	13	25.5
公共の場でのルールやマナーを身に付けることができる	49	94.2	48	94.1
地球環境への理解が深まる	15	28.8	25	49.0
移動手段について考え、選択することができるようになる	31	59.6	25	49.0
バスや鉄道など、地域の生活や暮らしを支えている人がいることへの理解が深まる	29	55.8	31	60.8
地域や社会、他の人のことを考えて、自分自身の行動を選ぶことができるようになる	13	25.0	23	45.1
改訂後の学習指導要領の内容に沿った学習ができる	2	3.8	3	5.9
その他	1	1.9	0	0.0
不明・無回答	0	0.0	0	0.0
合計(回答対象者数)	52	100.0	51	100.0

図 「交通環境学習」に期待する効果（複数回答）

3) 実施した「交通環境学習」の対象者と内容

問3 実施した「交通環境学習」の対象者と内容は？
 (枠内の該当する部分に○をご記入ください)

- 小学生を対象とした「バスや電車等の乗り方の座学」が71.2%、「バスや電車等の体験乗車・乗り方教室」が59.6%と多くなっている。
- 「地球環境問題と交通に関する座学」は小学生で25.0%、「バリアフリーに関する学習(座学)」は小学生で36.5%、「バリアフリーに関する学習(体験型)」は小学生で23.1%となっている。
- 中学生でみると、「バスや電車等の乗り方の座学」が50.0%と最も多く、「バリアフリーに関する学習(座学)」が36.5%、「バスや電車等の体験乗車・乗り方教室」が30.8%と続く。



	回答者数(件)								構成比(%)								
	園児	小学生	中学生	高校生	大学生	その他	不明・無回答	実施団体数	園児	小学生	中学生	高校生	大学生	その他	不明・無回答	実施団体数	
座学	バスや電車等の乗り方の座学	7	37	26	3	0	0	14	52	13.5	71.2	50.0	5.8	0.0	0.0	26.9	100.0
	地球環境問題と交通に関する座学	1	13	11	2	0	0	36	52	1.9	25.0	21.2	3.8	0.0	0.0	69.2	100.0
	バリアフリーに関する学習(座学)	0	19	19	2	0	0	31	52	0.0	36.5	36.5	3.8	0.0	0.0	59.6	100.0
体験型	バスや電車等の体験乗車・乗り方教室	5	31	16	2	0	1	18	52	9.6	59.6	30.8	3.8	0.0	1.9	34.6	100.0
	交通すごろく	0	0	0	0	0	0	52	52	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
	フードマイレージ	0	0	0	0	0	0	52	52	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
	バリアフリーに関する学習(体験型)	0	12	7	2	0	0	38	52	0.0	23.1	13.5	3.8	0.0	0.0	73.1	100.0
その他	その他1	0	5	4	1	0	0	46	52	0.0	9.6	7.7	1.9	0.0	0.0	88.5	100.0
	その他2	0	0	0	0	0	0	52	52	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0

図 「交通環境学習」の対象者と内容

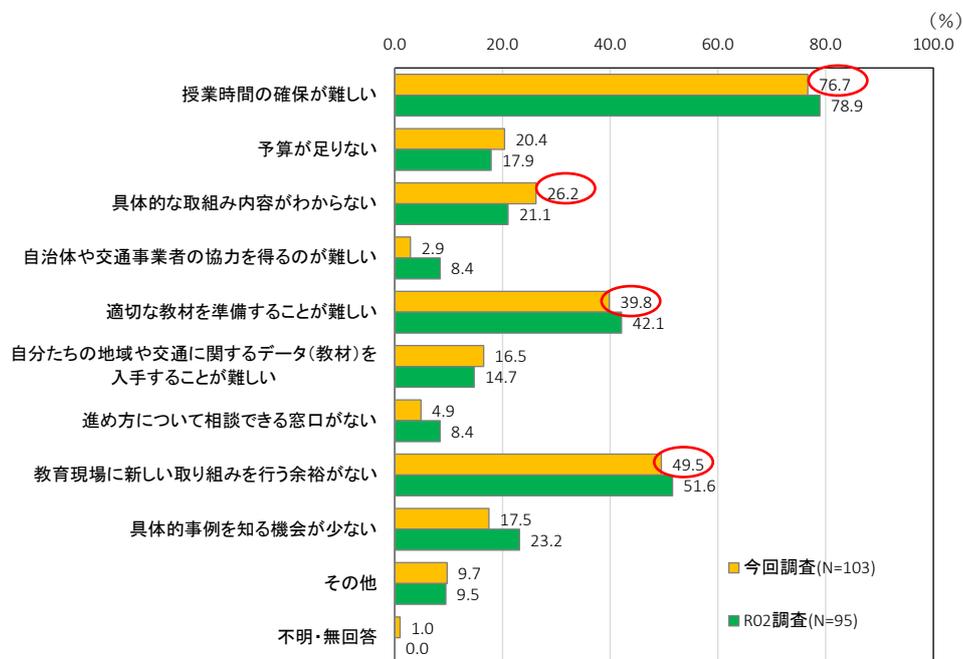
■その他の内容

- ・バス、電車を使った校外学習（2件）
- ・切符の買い方、鉄道の知識を学ぶ講座及び仕事体験
- ・仕事の内容や工夫、努力などを学ぶ
- ・修学旅行時の交通利用
- ・中学校社会科地理的分野、高等学校地理歴史科、地理A・B

4) 「交通環境学習」の課題や障壁

問4 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁は何ですか？（いくつでも）

○「授業時間の確保が難しい」が76.7%と多数を占めた。次いで「教育現場に新しい取り組みを行う余裕がない」が49.5%、「適切な教材を準備することが難しい」が39.8%、「具体的な取組み内容がわからない」が26.2%となっている。



	今回調査		R02度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
授業時間の確保が難しい	79	76.7	75	78.9
予算が足りない	21	20.4	17	17.9
具体的な取組み内容がわからない	27	26.2	20	21.1
自治体や交通事業者の協力を得るのが難しい	3	2.9	8	8.4
適切な教材を準備することが難しい	41	39.8	40	42.1
自分たちの地域の交通やデータ（教材）を入手することが難しい	17	16.5	14	14.7
進め方について相談できる窓口がない	5	4.9	8	8.4
教育現場に新しい取り組みを行う余裕がない	51	49.5	49	51.6
具体的事例を知る機会が少ない	18	17.5	22	23.2
その他	10	9.7	9	9.5
不明・無回答	1	1.0	0	0.0
合計（回答対象者数）	103	100.0	95	100.0

図 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁（複数回答）

■「その他」の内容

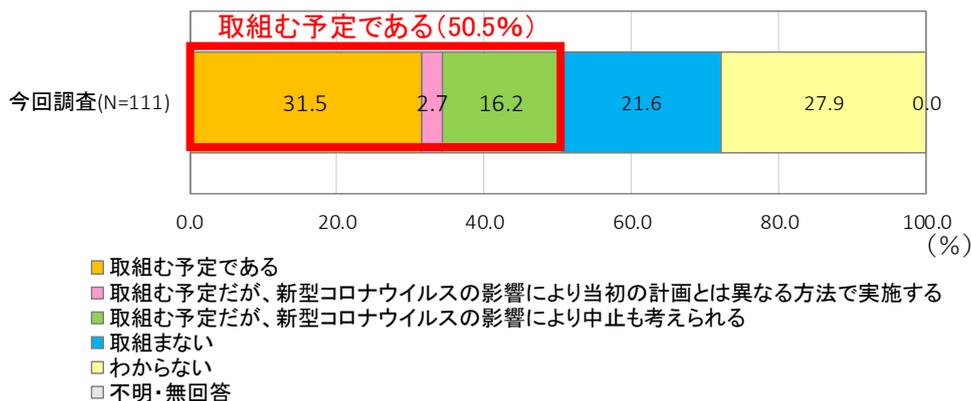
- ・学習指導要領にその用語がない

(2) 今後の「交通環境学習」について

① 今後「交通環境学習」に取り組む意向

問5 今後の「交通環境学習」の取組みについてお伺いします。
 (1) 今年度（令和3年度）、「交通環境学習」に取り組む予定はありますか？（1つに○）

- 「取り組む予定」としているのは50.5%だが、そのうち約4割は新型コロナウイルスの影響により取組内容の変更や中止を検討している。
- 「わからない」が27.9%、「取り組まない」が21.6%となっている。



	今回調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)
取り組む予定である	35	31.5
取り組む予定だが、新型コロナウイルスの影響により当初の計画とは異なる方法で実施する	3	2.7
取り組む予定だが、新型コロナウイルスの影響により中止も考えられる	18	16.2
取り組まない	24	21.6
わからない	31	27.9
不明・無回答	0	0.0
合計	111	100.0
取り組む予定あり	56	50.5

図 「交通環境学習」に取り組む予定

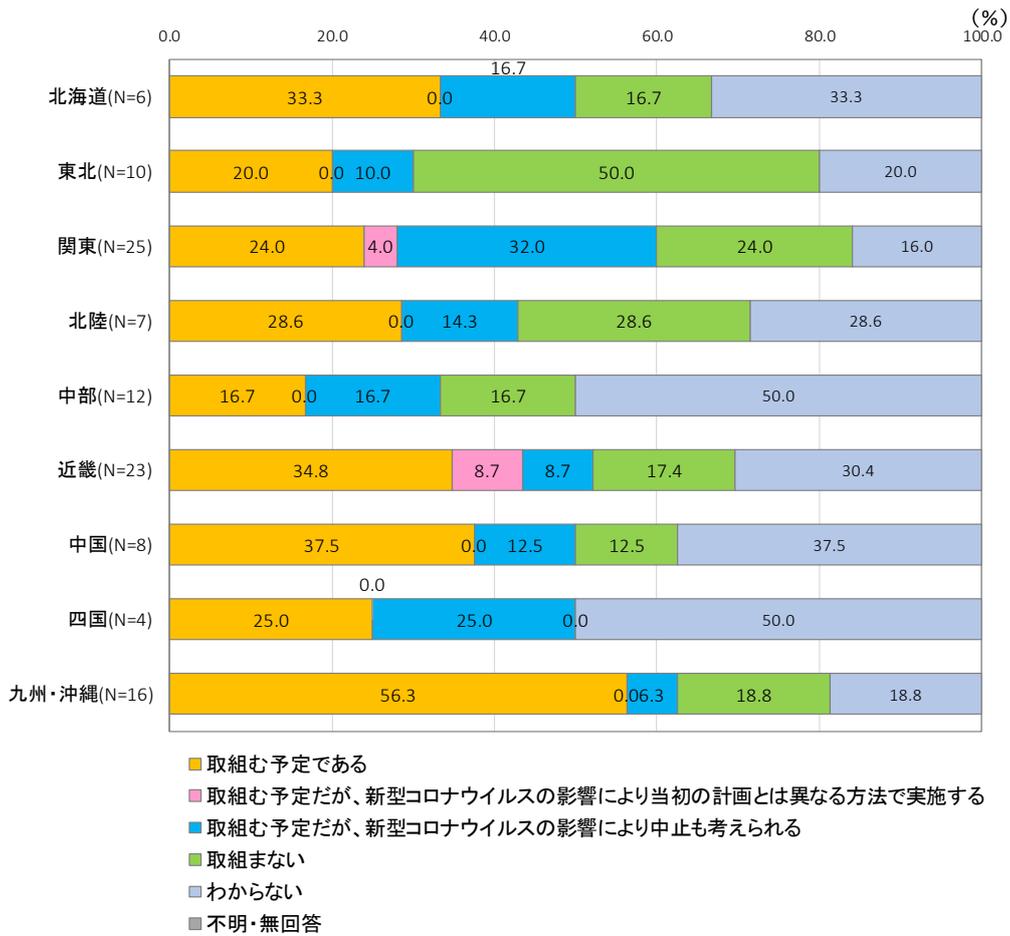


図 地方別 「交通環境学習」に取組む予定

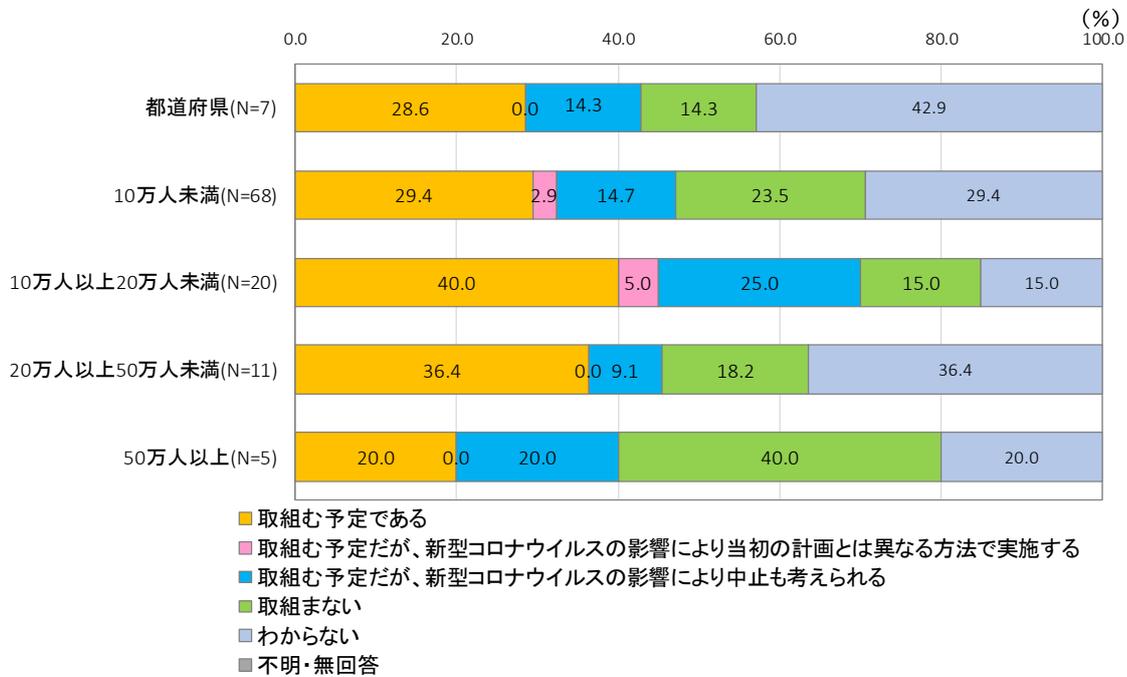


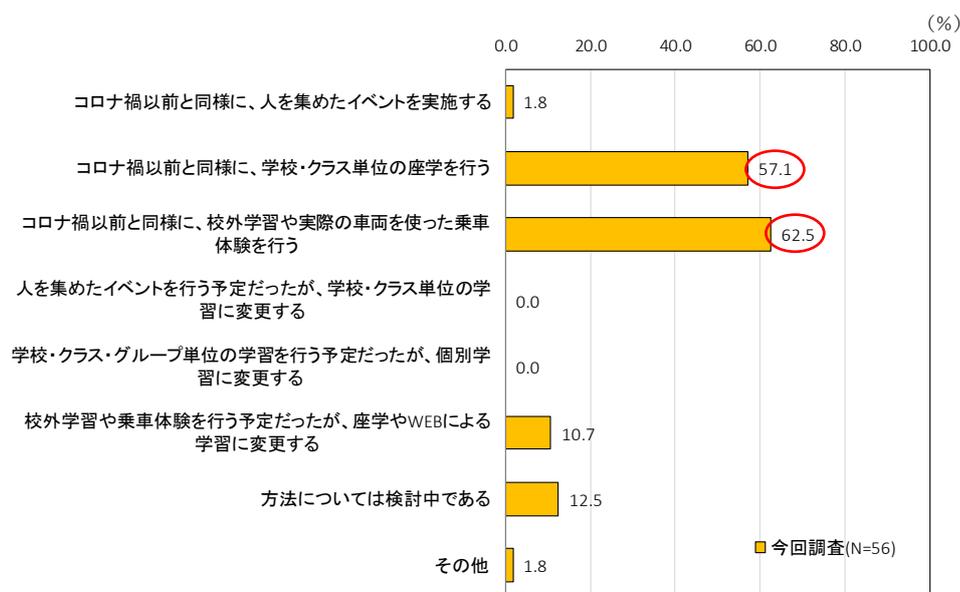
図 人口規模別 「交通環境学習」に取組む予定

②今年度の「交通環境学習」の取組み方法

副問 5.1 (1) で「1」「2」「3」とお答えの方にお伺いします。

今年度の「交通環境学習」は、どのような方法で取組む予定ですか。近いものをお答えください。(いくつでも)

- 「コロナ禍以前と同様に校外学習や実際の車両を使った乗車体験を行う」が62.5%と最も多く、次いで「コロナ禍以前と同様に、学校・クラス単位の座学を行う」が57.1%となっている。



	回答数 (件)	構成比 (%)
コロナ禍以前と同様に、人を集めたイベントを実施する	1	1.8
コロナ禍以前と同様に、学校・クラス単位の座学を行う	32	57.1
コロナ禍以前と同様に、校外学習や実際の車両を使った乗車体験を行う	35	62.5
人を集めたイベントを行う予定だったが、学校・クラス単位の学習に変更する	0	0.0
学校・クラス・グループ単位の学習を行う予定だったが、個別学習に変更する	0	0.0
校外学習や乗車体験を行う予定だったが、座学やWEBによる学習に変更する	6	10.7
方法については検討中である	7	12.5
その他	1	1.8
不明・無回答	0	0.0
合計	56	100.0

図 「交通環境学習」の取組方法

■「その他」の内容

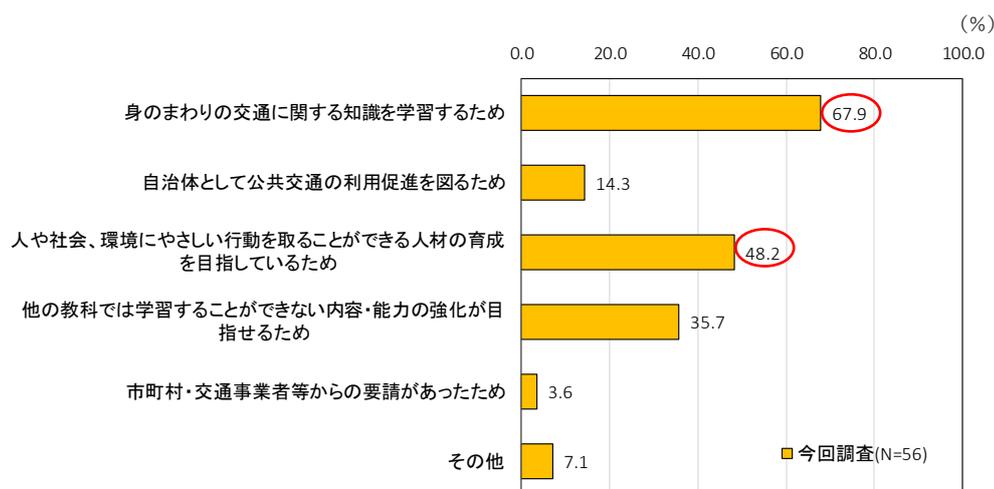
- ・中学校社会科地理的分野、高等学校地理歴史科、地理A・B

③コロナの影響がある中で「交通環境学習」を実施する理由

副問 5.2 (1) で「1」「2」「3」とお答えの方にお伺いします。

新型コロナウイルスの影響で、学校の授業・イベント自体が縮小されている中において、交通環境学習を実施する理由は何ですか？（いくつでも）

- 「身のまわりの交通に関する知識を学習するため」が 67.9%と最も多く、次いで「人や社会、環境にやさしい行動を取ることができる人材の育成を目指しているため」が 48.2%、「他の教科では学習することができない内容・能力の強化を目指せるため」が 35.7%となっている。



	今回調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)
身のまわりの交通に関する知識を学習するため	38	67.9
自治体として公共交通の利用促進を図るため	8	14.3
人や社会、環境にやさしい行動を取ることができる人材の育成を目指しているため	27	48.2
他の教科では学習することができない内容・能力の強化を目指せるため	20	35.7
市町村・交通事業者等からの要請があったため	2	3.6
その他	4	7.1
不明・無回答	0	0.0
合計	56	100.0

図 「交通環境学習」を実施する理由

■「その他」の内容

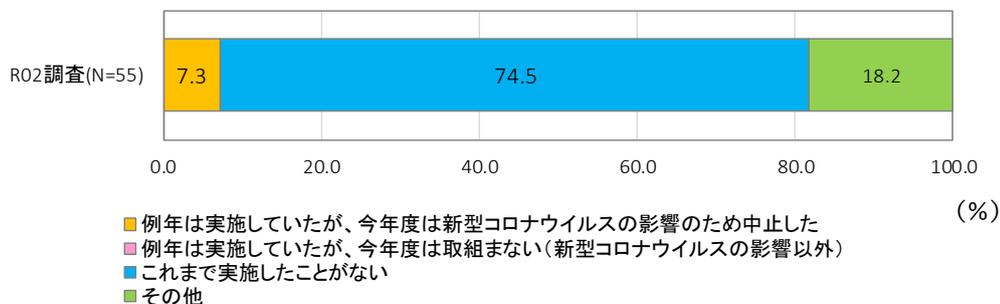
- ・登下校に利用しているため
- ・公共の場でのルールやマナーを身につけるため。(2件)
- ・中学校社会科地理的分野、高等学校地理歴史科、地理 A・B

④これまでの「交通環境学習」への取組み

副問 5.3 (1) で「4」「5」とお答えの方にお伺いします。

これまでの「交通環境学習」への取組について教えてください。(1つに〇)

○今年度の交通環境学習について、「取り組まない」「わからない」の回答者にこれまでの取組について聞いたところ、「これまで実施したことがない」が74.5%と最も高くなっている。



	今回調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)
例年は実施していたが、今年度は新型コロナウイルスの影響のため中止した	4	7.3
例年は実施していたが、今年度は取り組まない(新型コロナウイルスの影響以外)	0	0.0
これまで実施したことがない	41	74.5
その他	10	18.2
不明・無回答	0	0.0
合計	55	100.0

図 これまでの交通環境学習の取組み

■「その他」の主な内容

- ・実施の有無について把握していない。(5件)
- ・例年ではないが、過去に実施したことはある(2件)
- ・修学旅行の判別行動等の事前計画において、バスや電車を利用した計画を変更していることが考えられるため。
- ・スクールバスの乗車方法やマナーについての指導は例年おこなっている。
- ・環境学習については、NPO 法人や環境に関する首長部局と連携し、地域の身近な問題を取り上げ、地域に根差した環境の専門家などを生かした学習を行っているため。

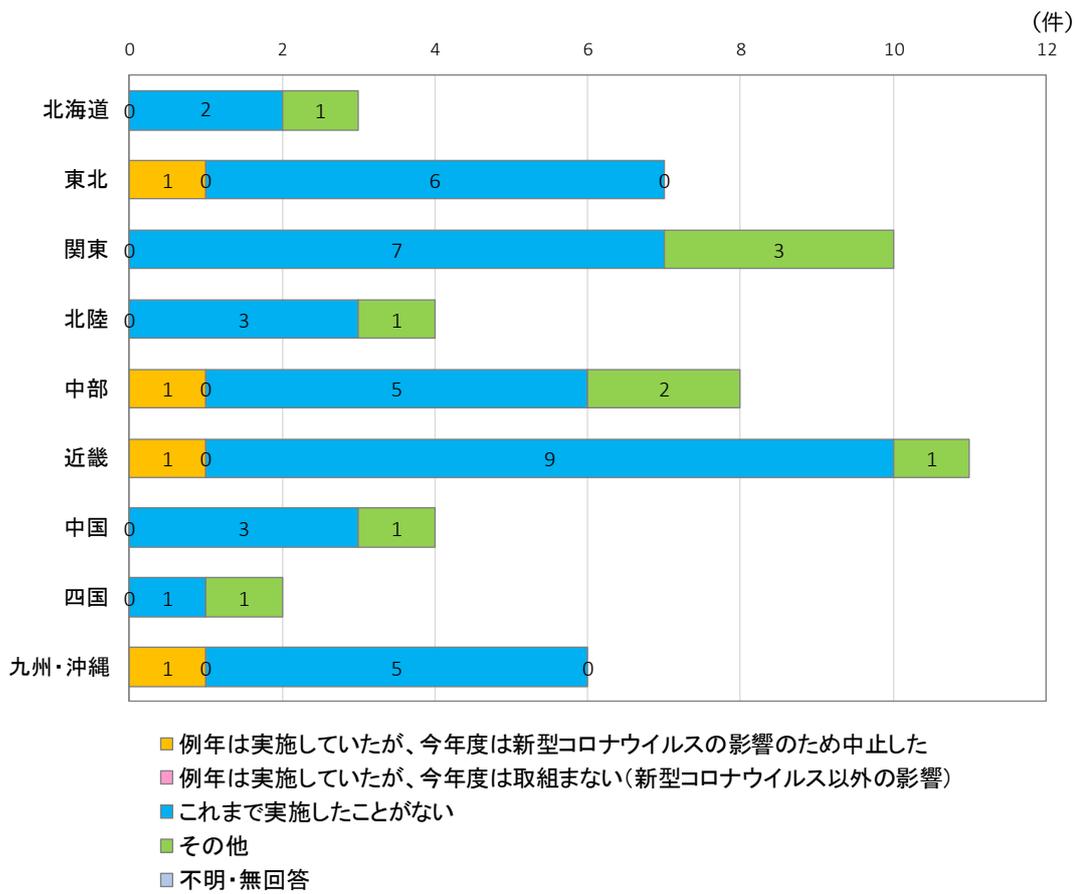
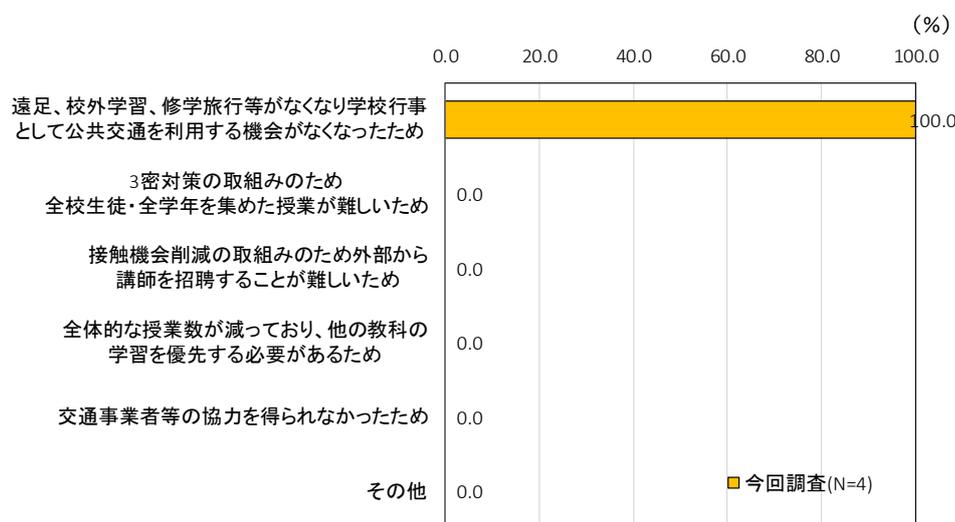


図 地方別 これまでの交通環境学習の取組

⑤ 「交通環境学習」への新型コロナウイルスの影響

副問 5.4 副問で 5.3 「1」とお答えの方にお伺いします。
 新型コロナウイルスの影響により交通環境学習が実施できなくなった理由としては、どのようなものがありますか？（いくつでも）

○前問で「例年は実施していたが、今年度は新型コロナウイルスの影響のため中止した」の回答者にその理由を聞いたところ、全回答者が「遠足、校外学習、修学旅行等がなくなり学校行事として公共交通を利用する機会がなくなったため」と回答している。



	今回調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)
遠足、校外学習、修学旅行等がなくなり学校行事として公共交通を利用する機会がなくなったため	4	100.0
3密対策の取組みのため全校生徒・全学年を集めた授業が難しいため	0	0.0
接触機会削減の取組みのため外部から講師を招聘することが難しいため	0	0.0
全体的な授業数が減っており、他の教科の学習を優先する必要があるため	0	0.0
交通事業者等の協力を得られなかったため	0	0.0
その他	0	0.0
不明・無回答	0	0.0
合計	4	100.0

図 「交通環境学習」への新型コロナウイルスの影響

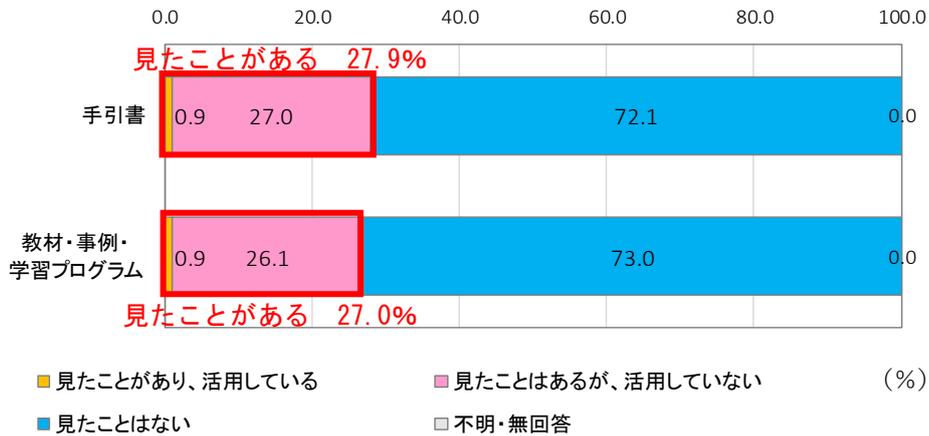
(3) 「交通環境学習」の教材の活用状況について

1) 交通エコモ財団が提供する教材

①交通エコモ財団が提供する教材（手引書）の認知度

問6 エコモ財団 HP から入手できる資料についてお伺いします。
 (1) エコモ財団 HP で入手できる、「交通環境学習手引書」（本編または概要版）を見たことがありますか？（1つに○）
 (2) エコモ財団 HP で入手できる、教材・事例・学習プログラムを見たことがありますか？（1つに○）

- 手引書では、「見たことはない」が72.1%と最も高く、次いで「見たことはあるが、活用していない」が27.0%、「見たことがあり、活用している」が0.9%となっている。「見たことがある」を合わせると、27.9%となっている。
- 教材・事例・学習プログラムにおいても、手引書とほぼ同様の結果となっており、教材認知度は低い。



	手引書		教材・事例・学習プログラム	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
見たことがあり、活用している	1	0.9	1	0.9
見たことはあるが、活用していない	30	27.0	29	26.1
見たことはない	80	72.1	81	73.0
不明・無回答	0	0.0	0	0.0
合計	111	100.0	111	100.0

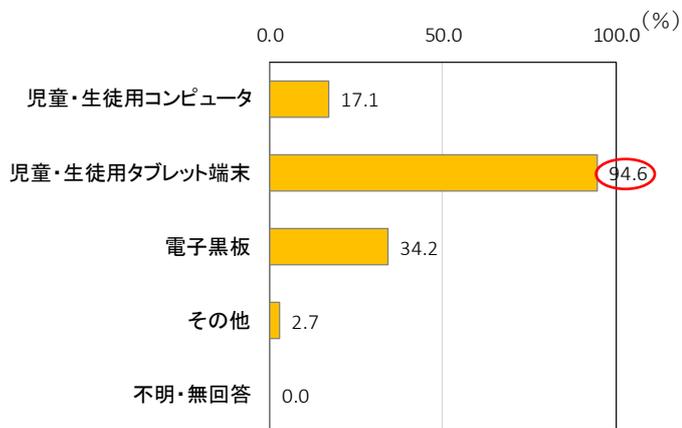
図 交通エコモ財団が提供する教材の認知度

(4) 教育機器の活用状況について

1) デジタル機器の活用状況について

問7 学習のデジタル化として貴教育委員会で導入（もしくは導入を検討）されており、交通環境学習への活用が期待される機器はありますか？（いくつでも）

○「児童・生徒用タブレット端末」が94.6%と最も高い回答を得た。



	回答数 (件)	構成比 (%)
児童・生徒用コンピュータ	19	17.1
児童・生徒用タブレット端末	105	94.6
電子黒板	38	34.2
その他	3	2.7
不明・無回答	0	0.0
合計	111	100.0

図 デジタル教材の活用が期待される機器

■その他

- ・大型提示装置
- ・コンピュータとタブレットの中間の2 in 1 端末
- ・タブレットは一人一台あるが、コンピュータは1クラス分程度。電子黒板は各学校1台程度。大型テレビは全クラスにある。

2) 「交通環境学習」の普及・推進について

問8 交通エコロジー・モビリティ財団が調査した結果、公共交通を教材に用いた「交通環境学習」に取り組む小学校は、全国で少しずつ増えています。

また、教育委員会と自治体が連携して「交通環境学習」の教育的効果を考え、授業に活かしている地域もあります。

貴教育委員会としては、「交通環境学習」を普及・推進することに対して、どのように思われますか。

- 「普及・推進していく上での課題」に関する意見が26件と多く、その中でも「カリキュラム、時間的余裕がない」といった内容が最も多かった。また、自治体の特性として「公共交通が身近にない、利便性が低い」ことに課題を感じている教育委員会も複数挙げられた。
- 「交通環境学習の効果、重要性」は21件、「取り組みに関する工夫」は15件と、交通環境学習に意欲的な意見も挙げられた。

※なお、ひとつの意見に複数の分類が重なっているため、回答自治体数の合計と一致しない。

表 交通環境学習の普及・推進に関する意見

分類項目	件数（件）
普及・推進していく上での課題	26
カリキュラム、時間的余裕がない	17
公共交通が身近にない、利便性が低い	6
その他	3
交通環境学習の効果、重要性	21
取組に関する工夫	15
交通環境学習に期待すること	13
今後検討、学校の判断に任せる	8
その他	3
回答件数	86

3 アンケート調査結果のまとめと今後の課題

(1) アンケート調査結果のまとめ

①都道府県・市を対象としたアンケート

- ・本年度調査において回答を得た 444 自治体における、昨年度の交通環境学習の実施状況は 23.9%と昨年度より 11.6 ポイント減少した。新型コロナウイルスの影響のため実施しなかった自治体が 14.6%あり、新型コロナウイルスの影響が交通環境学習の実施に大きな影響を与えていることがわかる。
- ・昨年度は実施していないもののこれまでに実施したことがある団体もあわせると、交通環境学習の実施経験のある団体は 54.5%となり、昨年度調査に比べ 4.9pt 増加した。
- ・交通環境学習を継続的に実施できる理由として、「効果が期待できる」との回答割合が昨年度より 5.3 ポイント上昇し、50.9%であった。
- ・交通環境学習の効果としては、「公共交通の利用促進・利用者増」を挙げている団体が最も多い結果であった。
- ・昨年度交通環境学習に取り組んでいない団体における取組まなかった理由としては、「担当部課の人手不足」を挙げた団体が最も多く、次いで「教材の作成や準備が大変」、「取組方法が分からない」といった理由であった。
- ・今年度の交通環境学習への取組としては、取り組む予定である自治体が 37.8%と、昨年度より 12.0 ポイント増加している。ただし、取り組む予定がある団体のうち約 3 割は新型コロナウイルスの影響により取組内容の変更や中止を検討している。
- ・取組方法については、コロナ禍以前と同様の方法で取組むという回答が多い。当初の取組方法とは異なる方法での実施を検討している自治体では、集客型ではないイベントの実施や、人数を制限するなどの工夫が挙げられた。
- ・新型コロナウイルスの影響により授業が縮小されている中でも交通環境学習を実施する理由としては、「自治体として公共交通の利用促進を図るため」、「身のまわりの交通に関する知識を学習するため」を挙げている団体が多い結果となった。
- ・例年交通学習を実施していたが、今年度は新型コロナウイルスの影響のため中止した理由としては、「3 密対策の取組のため全校生徒・全学年を集めた授業が難しいため」「全体的な授業数が減っており、他の教科の学習を優先する必要があるため」が多く挙げられた他、「イベント自体が中止になったため」、「感染拡大防止のため」といった回答が得られた。
- ・交通環境学習に取り組んでいく上での課題や障壁としては、「教材の準備などが大変」、「具体的な取組内容がわからない」等において多くの回答が得られた。なお、教材の内容に対する要望としては、「幅広い年代に対応した教材、それぞれの年代に対応した教材」、「地域の実情にあった教材、データ」、形式としては「動画教材」の回答が多く、教材の形式について今後検討が必要と思われる。
- ・交通エコモ財団が提供する交通環境学習に関する教材の認知度は、手引書、教材・事例・プログラムともに低いことが明らかとなった。
- ・交通環境学習に取り組んでいく上で予想される問題点として、「学校や教育委員会の理解・協力・調整」に関する意見が最も多く、もともとカリキュラムに余裕がないところ、さらに新型コロナウイルスの影響で授業時間が確保できないという課題が明らかとなった。

②教育委員会を対象としたアンケート

- ・回答のあった教育委員会（111件）が所管する小学校での交通環境学習の実施状況について、取組実績ありは46.8%であり、昨年度調査から6.9ポイント減少した。
- ・教育委員会が考える交通環境学習の効果としては、「公共の場でのルールやマナーを身に着けることができる」が最も多かった。
- ・交通環境学習に取り組んでいく上での課題や障壁としては、「授業時間の確保が難しい」が最も多く、次いで「教育現場に新しい取り組みを行う余裕がない」、「適切な教材を準備することが難しい」が挙げられ、昨年度とほぼ同様の結果となった。自治体のみならず、教育委員会からも授業時間の確保や教材に関する課題が挙げられた。
- ・今年度の交通環境学習への取組としては、取り組む予定である自治体が50.5%となっている。ただし、取り組む予定がある団体のうち約4割は新型コロナウイルスの影響により取組内容の変更や中止を検討している。
- ・取組方法については、コロナ禍以前と同様の方法で取り組むという回答が多い。当初の取組方法とは異なる方法での実施を検討している自治体では、校外学習や乗車体験を座学やWEB学習に変更するなどの工夫が挙げられた。
- ・新型コロナウイルスの影響により授業が縮小されている中でも交通環境学習を実施する理由としては、「身のまわりの交通に関する知識を学習するため」を挙げている団体が最も多い結果となった。
- ・交通エコモ財団が提供する交通環境学習に関する教材の認知度については、教育委員会においても低いことが明らかとなった。
- ・「交通環境学習」を普及・推進することに対する意見については、課題として「カリキュラム、時間的余裕がない」が多く挙げられているものの、SDGsなどの視点も含めた交通環境学習の効果や重要性、期待などの意見が挙げられている。

（2）今後の課題

- ・交通環境学習に取り組んでいく上での課題として、都道府県・市、教育委員会いずれにおいても、授業時間を確保する余裕がない点が挙げられた。新型コロナウイルスの影響で授業時間が少なくなる中、交通環境学習を行う意義や効果について、積極的に周知していく必要があると考えられる。
- ・また、エコモ財団で提供している教材についての認知度は依然として低く、動画教材等デジタル機器に対応した教材、対象者や地域の実情にあった教材に更新するとともに、こうした教材の周知を図ることで、教育現場の負担軽減にも繋がると考えられる。
- ・昨年度（令和2年度）の交通環境学習の実施状況は、新型コロナウイルスの影響もあり実施していないという回答が多かったが、今年度は、本調査実間中の感染状況が比較的落ち着いていたこともあり、取り組む予定であるとの回答が多くなっている。今後も、特にイベントや乗車体験などが含まれた交通環境学習は、感染状況に影響される場合があるため、適切な感染防止対策を行ったり、実施方法を工夫している事例等を示していく必要があると考えられる。

参考 1. 自治体向け アンケート調査票

①昨年度取組が確認された自治体向け

「鉄道やバスなどを教材とした学習」に関する調査

ご協力をお願い

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団では、「学校と連携した交通と環境問題に関する授業や児童や生徒等を対象とした交通と環境問題に関する学習（以下、「交通環境学習」と記載します）」のより一層の普及を目的として、今年度も引き続き、全国の自治体での取組状況や課題等を把握するためのアンケート調査を実施することとなりました。

なお、集計結果は、交通環境学習ポータルサイト (<http://www.mm-education.jp/>) での公表を予定するとともに、ご回答いただいた自治体の方には、本調査の集計結果や交通環境学習関連情報をご提供させていただきます。（昨年度の結果はポータルサイトからダウンロードできます）

ご多用のところ誠に恐れ入りますが、何卒ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

「交通環境学習」とは？

「バス」や「鉄道」などを教材に用いた学習のこと。

交通環境学習の
授業内容例

- ・ イベント（バスまつりなど公共交通に親しんでもらうためのイベント）
- ・ バスや鉄道の垂り方教室（校外学習や修学旅行での事前学習も含まれます）
- ・ 公共交通を題材とした地球環境問題の学習
- ・ 環境学習の一環としてのバス・電車を使った校外学習
- ・ 公共交通を題材としたまちづくり学習
- ・ 交通すごろく（すごろくゲームで交通と環境問題や渋滞との関係を学習）
- ・ フードマイレージ（買物ゲームで輸送時の環境負荷を学習） など

■記入上のご注意

この調査票は、令和2年度実施アンケートで交通環境学習に取組んだと回答された自治体にお送りしています。

ご回答は、「交通環境学習」に取組まれた場合は、その内容をご存じのご担当者様、取組まれていない場合は、公共交通計画等の関係部署のご担当者様をお願いいたします。

なお、教育委員会にも同様のアンケートを配布しています。

交通環境学習ポータル
サイト QRコード



■回収の期日

アンケートは、**11月22日（月）**までに、回答願います。

■調査票の回収方法（A～Cのいずれかの方法で返送ください）

A. インターネット

下記交通環境学習ポータルサイトにアクセス後、回答画面にて入力できます

交通環境学習ポータルサイト <http://www.mm-education.jp/>

B. FAX

記入後の調査票を **FAX 03-5791-1143** まで返信

C. メール

エコモ財団ホームページから調査票をダウンロードいただき、
記入後の調査票を **info@mm-education.jp** まで返信

【問い合わせ先】交通エコロジー・モビリティ財団（担当：岡本）

／TEL 03-3221-7637、E-mail info@mm-education.jp

■調査会社（調査票の配布・回収）

社会システム株式会社（担当：吉田）／TEL 03-5791-1133

■ 貴自治体での令和2年度の「交通環境学習」の実施状況について

問1 貴自治体では昨年度（令和2年度）に、「交通環境学習」を実施しましたか？（1つに○）

※学校からの依頼で行ったものや交通事業者や運輸局等の取組に協力して実施したものも含まれます。

1. 実施した →副問1.1へ
2. 過去に実施したことはあるが、昨年度は実施しなかった →副問1.2へ
3. 例年は実施していたが、昨年度は新型コロナウイルスの影響のため実施しなかった →問4へ

副問1.1 問1で「1」とお答えの方にお伺いします。

「交通環境学習」を継続的に実施できる理由は何ですか？（いくつでも）

1. 効果が期待できる
（具体的に期待している効果は何ですか：)
2. 学校や市町村、交通事業者等が主体となって実施している
3. 学校からの要請がある
4. 自治体の方針や計画に位置づけられている
5. その他（具体的に：)

→副問1.1のあとは、問2へ

副問1.2 問1で「2」とお答えの方にお伺いします。

昨年度、「交通環境学習」を実施しなかった理由は何ですか？（いくつでも）

1. 取組方法がわからない
2. 担当部課の人手不足
3. 予算が確保できない
4. 効果が分からない
5. 学校の協力が得られない
6. 教材の作成や準備が大変
7. その他（具体的に：)

→副問1.2のあとは、4ページの問4へ

問2 昨年度、貴自治体で取り組まれた「交通環境学習」の実施方法についてお伺いします

(1)それは、学校の授業の一環として実施しましたか？

1. 実施した →副問2.1へ
2. 実施していない →(2)へ

副問2.1 (1)で「1」とお答えの方にお伺いします。

授業の実施主体をお答えください。（いくつでも）

1. 貴自治体が学校に依頼して実施
2. 自治体指定の共通カリキュラムを学校で実施
3. 各学校が独自カリキュラムで取組
4. 出前講座として学校からの依頼に対応
5. 国や市町村、交通事業者等が主体となり実施
6. その他（具体的に：)

(2) それは、学校の授業以外ではどのような形（フォーラム、バスまつりなど）で実施しましたか？

具体的に：

副問 2.2 (2) でご回答いただいた方にお伺いします。

(2) でご回答いただいた活動の実施主体をお答えください。(いくつでも)

1. 貴自治体が主体となり実施
2. 国や市町村が主体となり実施
3. 交通事業者が主体となり実施
4. その他（具体的に： _____）

問 3 実施した「交通環境学習」の対象者と内容は？（枠内の該当する部分に○をご記入ください）

内 容		対象者					
		園児	小学生	中学生	高校生	大学生	その他
座学	バスや電車等の乗り方の座学						
	地球環境問題と交通に関する座学						
	バリアフリーに関する学習（座学）						
体験型	バスや電車等の体験乗車・乗り方教室						
	交通すごろく※1						
	フードマイレージ※2						
	バリアフリーに関する学習（体験型）						
その他	（具体的に： _____）						
	（具体的に： _____）						

※1 交通すごろく：すごろくゲームで、交通と地球環境問題の関係や渋滞などを学習

※2 フードマイレージ：買物ゲームで輸送時の環境改善を学習

■ 今後の「交通環境学習」について

問4 今後の「交通環境学習」の取組みについてお伺いします。

(1) 今年度（令和3年度）、「交通環境学習」に取り組む予定はありますか？（1つに○）

1. 取り組む予定である →副問4.1へ
2. 取り組む予定だが、新型コロナウイルスの影響により当初の計画とは異なる方法で実施する
→副問4.1へ
3. 取り組む予定だが、新型コロナウイルスの影響により中止も考えられる →副問4.1
4. 取り組まない →次ページ副問4.3へ
5. わからない →次ページ副問4.3へ

副問4.1 (1)で「1」「2」「3」とお答えの方にお伺いします。

今年度の「交通環境学習」は、どのような方法で取り組む予定ですか？近いものをお答えください。（いくつでも）

1. コロナ禍以前と同様に、人を集めたイベント*を実施する
2. コロナ禍以前と同様に、学校・クラス単位の座学を行う
3. コロナ禍以前と同様に、校外学習や実際の車両を使った乗車体験を行う
4. 人を集めたイベントを行う予定だったが、学校・クラス単位の学習に変更する
5. 学校・クラス・グループ単位の学習を行う予定だったが、個別学習に変更する
6. 校外学習や乗車体験を行う予定だったが、座学やWEBによる学習に変更する
7. 方法については検討中である
8. その他（具体的に： _____）

※鉄道の日やバスの日、海の日などに合わせた公共交通に親んでもらうためのイベント
（例：バスまつりなど）

→副問4.2もご回答ください。

副問4.2 (1)で「1」「2」「3」とお答えの方にお伺いします。

新型コロナウイルスの影響で、学校の授業・イベント自体が縮小されている中において、交通環境学習を実施する理由は何ですか？（いくつでも）

1. 身のまわりの交通に関する知識を学習するため
2. 自治体として公共交通の利用促進を図るため
3. 人や社会、環境にやさしい行動を取ることができる人材の育成を目指しているため
4. 他の教科では学習することができない内容・能力の強化が目標のため
5. 市町村・交通事業者等からの要請があったため
6. その他（具体的に： _____）

→6ページ問5へお進みください。

副問 4.3 (1) で「4」「5」とお答えの方にお伺いします。

これまでの「交通環境学習」への取組について教えてください。(1つに○)

1. 例年は実施していたが、今年度は新型コロナウイルスの影響のため中止した

→副問4.4へ

2. 例年は実施していたが、今年度は取組まない(新型コロナウイルスの影響以外)

(理由:)

3. これまで実施したことがない

4. その他(具体的に:)

→ 6 ページ問5へお進みください。

副問 4.4 副問で4.3「1」とお答えの方にお伺いします。

新型コロナウイルスの影響により交通環境学習が実施できなくなった理由としては、どのようなものがありますか？(いくつでも)

1. 遠足、校外学習、修学旅行等がなくなり学校行事として公共交通を利用する機会がなくなったため

2. 3密対策の取組みのため全校生徒・全学年を集めた授業が難しいため

3. 接触機会削減の取組みのため外部から講師を招聘することが難しいため

4. 全体的な授業数が減っており、他の教科の学習を優先する必要があるため

5. 交通事業者等の協力を得られなかったため

6. その他(具体的に:)

→6 ページ問5へお進みください。

全員の方がご回答ください。

問5 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁は何ですか？（いくつでも）

1. 教育委員会の理解が得られない
2. 具体的な取組内容がわからない
3. 学校の協力が得られない（アプローチの仕方がわからない）
4. 交通事業者の協力を得られない
5. 期待した効果が得られない
6. 教材の準備などが大変
7. 進め方について相談できる窓口がない
8. 具体的事例を知る機会が少ない
9. その他（具体的に： _____)

問6 今後、貴自治体において「交通環境学習」に取り組む場合に、予想される問題点や、支援して欲しい事柄などについて、具体的に教えてください。

具体的に：

■ 教材・手引きの活用状況について

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団のホームページ（以下、エコモ財団 HP）から、交通環境学習の教材・事例や、手引き、データベース等を入手することができます。

交通環境学習（モビリティ・マネジメント教育）ポータルサイト

※左方から学習、教材・カリキュラムまで、モビリティ・マネジメント教育

概要書「モビリティ・マネジメント教育のすすめ」のダウンロード

教育委員

自治体実例

交通環境学習プログラム、手引きのダウンロード

メールマガジン
(受信者募集中)

モビリティ・マネジメント教育とは

モビリティ・マネジメント教育とは、われわれ一人ひとりの移動手段や社会全体の交通活動を「人や社会、環境にやさしい」という観点から見直し、改善していくために自発的な行動を促されるような人間を育成することを目的とした教育活動を意味します。

[詳細はこちら>](#)

交通環境学習プログラムデータベース

≪MM教育の手引き≫

教材を手に入れよう!

[教材のダウンロード](#)

事例を参考にしよう!

[取り組み事例の紹介](#)

エコモ財団が公開している教材・事例は、下記 HP からご覧いただけます

交通環境学習ポータルサイト <http://www.mm-education.jp/>

(QRコードからアクセスできます)



問7 エコモ財団 HP から入手できる資料についてお伺いします。

(1) エコモ財団 HP で入手できる、「交通環境学習手引書」(本編または概要版)を見たことがありますか？(1つに○)

1. 見たことがあり、活用している
2. 見たことはあるが、活用していない
3. 見たことはない

(2) エコモ財団 HP で入手できる、「教材・事例・学習プログラム」を見たことがありますか？(1つに○)

1. 見たことがあり、活用している
2. 見たことはあるが、活用していない
3. 見たことはない

問8 交通環境学習に用いる教材について、「こういったものが欲しい」「こういったものがあれば活用できる」等のご意見・ご要望があればご記入ください。

具体的に：

→質問は以上です。

最後にご回答者様についてご記入ください。

■貴自治体やご回答者について

- 本アンケートのご回答者 ※不明点などについて、お問い合わせさせていただく場合があります。

自治体名				担当部署	
氏名				役職	
TEL		FAX		e-mail	

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

アンケートは、11月22日(月)までに、
インターネット、メール、FAXのいずれかで返送願います。

「鉄道やバスなどを教材とした学習」に関する調査

ご協力をお願い

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団では、「学校と連携した交通と環境問題に関する授業や児童や生徒等を対象とした交通と環境問題に関する学習（以下、「交通環境学習」と記載します）」のより一層の普及を目的として、今年度も引き続き、全国の自治体での取組状況や課題等を把握するためのアンケート調査を実施することとなりました。

なお、集計結果は、交通環境学習ポータルサイト (<http://www.mm-education.jp/>) での公表を予定するとともに、ご回答いただいた自治体の方には、本調査の集計結果や交通環境学習関連情報をご提供させていただきます。（昨年度の結果はポータルサイトからダウンロードできます）

ご多用のところ誠に恐れ入りますが、何卒ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

「交通環境学習」とは？

「バス」や「鉄道」などを教材に用いた学習のこと。

交通環境学習の
授業内容例

- ・イベント（バスまつりなど公共交通に親しんでもらうためのイベント）
- ・バスや鉄道の乗り方教室（校外学習や修学旅行での事前学習も含みます）
- ・公共交通を題材とした地球環境問題の学習
- ・環境学習の一環としてのバス・電車を使った校外学習
- ・公共交通を題材としたまちづくり学習
- ・交通すごろく（すごろくゲームで交通と環境問題や渋滞との関係を学習）
- ・フードマイレージ（買物ゲームで輸送時の環境負荷を学習） など

■記入上のご注意

この調査票は、令和2年度実施アンケートで交通環境学習の取組が確認されていない自治体にお送りしています。

ご回答は、「交通環境学習」に取組まれた場合は、その内容をご存じのご担当者様、取組まれていない場合は、公共交通計画等の関係部署のご担当者様にお願いいたします。

なお、教育委員会にも同様のアンケートを配布しています。

交通環境学習ポータル
サイト QRコード



■回収の期日

アンケートは、**11月22日（月）**までに、回答願います。

■調査票の回収方法（A～Cのいずれかの方法で返送ください）

A. インターネット

下記交通環境学習ポータルサイトにアクセス後、回答画面にて入力できます

交通環境学習ポータルサイト <http://www.mm-education.jp/>

B. FAX

記入後の調査票を **FAX 03-5791-1143** まで返信

C. メール

エコモ財団ホームページから調査票をダウンロードいただき、
記入後の調査票を info@mm-education.jp まで返信

【問い合わせ先】交通エコロジー・モビリティ財団（担当：岡本）

／TEL 03-3221-7637、E-mail info@mm-education.jp

■調査会社（調査票の配布・回収）

社会システム株式会社（担当：吉田）／TEL 03-5791-1133

■ 貴自治体での令和2年度の「交通環境学習」の実施状況について

問1 貴自治体では昨年度（令和2年度）に、「交通環境学習」を実施しましたか？（1つに○）

※学校からの依頼で行ったものや交通事業者や運輸局等の取組に協力して実施したものも含まれます。

1. 実施した →問2へ
2. 過去に実施したことはあるが、昨年度は実施しなかった →副問1.1へ
3. これまで実施したことがない →副問1.1へ
4. 例年は実施していたが、昨年度は新型コロナウイルスの影響のため実施しなかった →問4へ

副問1.1 問1で「2」「3」とお答えの方にお伺いします。

(1) 「交通環境学習」に取り組む意向はありましたか？（1つに○）

1. 取組に向けて検討したが断念した
2. 関心はあったが検討しなかった
3. 関心もない

(2) その主な理由は何ですか？（いくつでも）

1. 取組方法がわからない
2. 担当部課の人手不足
3. 予算が確保できない
4. 効果が分らない
5. 学校の協力が得られない
6. 教材の作成や準備が大変
7. その他（具体的に： _____）

→副問1.1のあとは、4ページの問4へ

問2 昨年度、貴自治体で取り組まれた「交通環境学習」の実施方法についてお伺いします

(1) それは、学校の授業の一環として実施しましたか？

1. 実施した →副問2.1へ
2. 実施していない →(2)へ

副問2.1 (1)で「1」とお答えの方にお伺いします。

授業の実施主体をお答えください。（いくつでも）

1. 貴自治体が学校に依頼して実施
2. 自治体指定の共通カリキュラムを学校で実施
3. 各学校が独自カリキュラムで取組
4. 出前講座として学校からの依頼に対応
5. 国や市町村、交通事業者等が主体となり実施
6. その他（具体的に： _____）

(2) それは、学校の授業以外ではどのような形（フォーラム、バスまつりなど）で実施しましたか？

具体的に：

副問 2.2 (2) でご回答いただいた方にお伺いします。

(2) でご回答いただいた活動の実施主体をお答えください。(いくつでも)

1. 貴自治体が主体となり実施
2. 国や市町村が主体となり実施
3. 交通事業者が主体となり実施
4. その他（具体的に： _____)

問3 実施した「交通環境学習」の対象者と内容は？（枠内の該当する部分に○をご記入ください）

内 容		対象者					
		園児	小学生	中学生	高校生	大学生	その他
座学	バスや電車等の乗り方の座学						
	地球環境問題と交通に関する座学						
	バリアフリーに関する学習（座学）						
体験型	バスや電車等の体験乗車・乗り方教室						
	交通すごろく※1						
	フードマイレージ※2						
	バリアフリーに関する学習（体験型）						
その他	（具体的に： _____)						
	（具体的に： _____)						

※1 交通すごろく：すごろくゲームで、交通と地球環境問題の関係や渋滞などを学習

※2 フードマイレージ：買物ゲームで輸送時の環境改善を学習

■ 今後の「交通環境学習」について

問 4 今後の「交通環境学習」の取組みについてお伺いします。

(1) 今年度（令和3年度）、「交通環境学習」に取り組む予定はありますか？（1つに○）

1. 取り組む予定である →副問 4.1へ
2. 取り組む予定だが、新型コロナウイルスの影響により当初の計画とは異なる方法で実施する
→副問 4.1へ
3. 取り組む予定だが、新型コロナウイルスの影響により中止も考えられる →副問 4.1
4. 取り組まない →次ページ副問 4.3へ
5. わからない →次ページ副問 4.3へ

副問 4.1 (1) で「1」「2」「3」とお答えの方にお伺いします。

今年度の「交通環境学習」は、どのような方法で取り組む予定ですか？近いものをお答えください。（いくつでも）

1. コロナ禍以前と同様に、人を集めたイベント[※]を実施する
2. コロナ禍以前と同様に、学校・クラス単位の座学を行う
3. コロナ禍以前と同様に、校外学習や実際の車両を使った乗車体験を行う
4. 人を集めたイベントを行う予定だったが、学校・クラス単位の学習に変更する
5. 学校・クラス・グループ単位の学習を行う予定だったが、個別学習に変更する
6. 校外学習や乗車体験を行う予定だったが、座学やWEBによる学習に変更する
7. 方法については検討中である
8. その他（具体的に： _____）

※鉄道の日やバスの日、海の日などに合わせた公共交通に親んでもらうためのイベント
（例：バスまつりなど）

→副問 4.2 もご回答ください。

副問 4.2 (1) で「1」「2」「3」とお答えの方にお伺いします。

新型コロナウイルスの影響で、学校の授業・イベント自体が縮小されている中において、交通環境学習を実施する理由は何ですか？（いくつでも）

1. 身のまわりの交通に関する知識を学習するため
2. 自治体として公共交通の利用促進を図るため
3. 人や社会、環境にやさしい行動を取ることができる人材の育成を目指しているため
4. 他の教科では学習することができない内容・能力の強化を目指すため
5. 市町村・交通事業者等からの要請があったため
6. その他（具体的に： _____）

→6 ページ問5へお進みください。

副問 4.3 (1) で「4」「5」とお答えの方にお伺いします。

これまでの「交通環境学習」への取組について教えてください。(1つに○)

1. 例年は実施していたが、今年度は新型コロナウイルスの影響のため中止した

→副問4.4へ

2. 例年は実施していたが、今年度は取組まない(新型コロナウイルスの影響以外)

(理由:)

3. これまで実施したことがない

4. その他(具体的に:)

→ 6 ページ問5へお進みください。

副問 4.4 副問で4.3「1」とお答えの方にお伺いします。

新型コロナウイルスの影響により交通環境学習が実施できなくなった理由としては、どのようなものがありますか?(いくつでも)

1. 遠足、校外学習、修学旅行等がなくなり学校行事として公共交通を利用する機会がなくなったため

2. 3密対策の取組みのため全校生徒・全学年を集めた授業が難しいため

3. 接触機会削減の取組みのため外部から講師を招聘することが難しいため

4. 全体的な授業数が減っており、他の教科の学習を優先する必要があるため

5. 交通事業者等の協力を得られなかったため

6. その他(具体的に:)

→6 ページ問5へお進みください。

全員の方がご回答ください。

問5 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁は何ですか？（いくつでも）

1. 教育委員会の理解が得られない
2. 具体的な取組内容がわからない
3. 学校の協力が得られない（アプローチの仕方がわからない）
4. 交通事業者の協力が得られない
5. 期待した効果が得られない
6. 教材の準備などが大変
7. 進め方について相談できる窓口がない
8. 具体的事例を知る機会が少ない
9. その他（具体的に： _____)

問6 今後、貴自治体において「交通環境学習」に取り組む場合に、予想される問題点や、支援して欲しい事柄などについて、具体的に教えてください。

具体的に：

■ 教材・手引きの活用状況について

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団のホームページ（以下、エコモ財団 HP）から、交通環境学習の教材・事例や、手引き、データベース等を入手することができます。

交通環境学習（モビリティ・マネジメント教育）ポータルサイト

考えながら学習、教材・カリキュラムまで、モビリティ・マネジメント教育

概要書「モビリティ・マネジメント教育のすすめ」のダウンロード

教材・事例のダウンロード

教育資源

自治体連携

モビリティ・マネジメント教育とは
モビリティ・マネジメント教育とは、われわれ一人ひとりの移動手段や社会全体の交通流動を「人や社会、環境にやさしい」という観点から見直し、改善していくために具体的な行動を促されるような人間を育成することを目的とした教育活動を意味します。
詳細はこちら>

教材を手に入れよう！

教材のダウンロード

事例を参考にしよう！

取り組み事例の紹介

交通環境学習プログラム、手引きのダウンロード

メールマガジン（受発者募集中）

交通環境学習プログラムデータベース

《MM教育の手引き》

エコモ財団が公開している教材・事例は、下記HPからご覧いただけます
交通環境学習ポータルサイト <http://www.mm-education.jp/>
(QRコードからアクセスできます)

問7 エコモ財団 HP から入手できる資料についてお伺いします。

(1) エコモ財団 HP で入手できる、「交通環境学習手引書」(本編または概要版)を見たことがありますか？(1つに○)

1. 見たことがあり、活用している
2. 見たことはあるが、活用していない
3. 見たことはない

(2) エコモ財団 HP で入手できる、教材・事例・学習プログラムを見たことがありますか？(1つに○)

1. 見たことがあり、活用している
2. 見たことはあるが、活用していない
3. 見たことはない

問8 交通環境学習に用いる教材について、「こういったものが欲しい」「こういったものがあれば活用できる」等のご意見・ご要望があればご記入ください。

具体的に：

→質問は以上です。

最後にご回答者様についてご記入ください。

■貴自治体やご回答者について

- 本アンケートのご回答者 ※不明点などについて、お問い合わせさせていただく場合があります。

自治体名				担当部署	
氏名				役職	
TEL		FAX		e-mail	

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

アンケートは、11月22日(月)までに、
インターネット、メール、FAXのいずれかで返送願います。

参考 2. 教育委員会向け アンケート調査票

「鉄道やバスなどを教材とした学習」に関する調査

ご協力をお願い

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団では、「学校と連携した交通と環境問題に関する授業や児童や生徒等を対象とした交通と環境問題に関する学習（以下、「交通環境学習」と記載します）」のより一層の普及を目的として、今年度も引き続き、全国の教育委員会での取組状況や課題等を把握するためのアンケート調査を実施することとなりました。

なお、集計結果は、交通環境学習ポータルサイト (<http://www.mm-education.jp/>) での公表を予定しています。（昨年度の結果はポータルサイトからダウンロードできます）

ご多用のところ誠に恐れ入りますが、何卒ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

「交通環境学習」とは？

「バス」や「鉄道」などを教材に用いた学習のこと。

交通環境学習の
授業内容例

- ・イベント（バスまつりなど公共交通に親しんでもらうためのイベント）
- ・バスや鉄道の乗り方教室（校外学習や修学旅行での事前学習も含まれます）
- ・公共交通を題材とした地球環境問題の学習
- ・環境学習の一環としてのバス・電車を使った校外学習
- ・公共交通を題材としたまちづくり学習
- ・交通すころく（すころくゲームで交通と環境問題や渋滞との関係を学習）
- ・フードマイレージ（買物ゲームで輸送時の環境負荷を学習） など

■記入上のご注意

ご回答は、「交通環境学習」に取組まれた場合は、その内容をご存じのご担当者様、
取組まれていない場合は、学校教育等の関係部署のご担当者様をお願いいたします。
なお、各自治体の公共交通関係部署にも同様のアンケートを別途実施しています。

交通環境学習ポータル
サイト QRコード



■回収の期日

アンケートは、**11月22日（月）**までに、回答願います。

■調査票の回収方法（A～Cのいずれかの方法で返送ください）

A. インターネット

下記交通環境学習ポータルサイトにアクセス後、回答画面にて入力できます

交通環境学習ポータルサイト <http://www.mm-education.jp/>

B. FAX

記入後の調査票を **FAX 03-5791-1143** まで返信

C. メール

エコモ財団ホームページから調査票をダウンロードいただき、
記入後の調査票を **info@mm-education.jp** まで返信

【問い合わせ先】交通エコロジー・モビリティ財団（担当：岡本）

／TEL 03-3221-7637、E-mail info@mm-education.jp

■調査会社（調査票の配布・回収）

社会システム株式会社（担当：吉田）／TEL 03-5791-1133

■「交通環境学習」の取組み状況

問1 貴教育委員会が所管する学校では、昨年度（令和2年度）に、「交通環境学習」を実施しましたか？（近いもの1つに○）

1. 全校で、交通環境学習を取り入れた授業を行っている
2. 一部の学校で、授業にとり入れている
3. 今は取り組んでいないが、今後、授業にとり入れることは可能 →問4へ
4. 授業にとり入れることは難しい →問4へ
5. 例年は実施していたが、昨年度は新型コロナウイルスの影響のため実施しなかった →問5へ

問2 「交通環境学習」には、どのような効果があるとお考えですか（いくつでも）

1. 住んでいるまちの理解が深まる
2. 住んでいるまちへの愛着が生まれる
3. 公共の場でのルールやマナーを身につけることができる
4. 地球環境への理解が深まる
5. 移動手段について考え、選択することができるようになる
6. バスや鉄道など、地域の生活や暮らしを支えている人がいることへの理解が深まる
7. 地域や社会、他の人のことを考えて、自分自身の行動を選ぶことができるようになる
8. 改訂後の学習指導要領の内容に沿った学習ができる
9. その他（具体的に： _____）

問3 昨年度（令和2年度）に実施した「交通環境学習」の対象者と内容は？

（枠内の該当する部分に○をご記入ください）

内 容		対象者					
		園児	小学生	中学生	高校生	大学生	その他
座学	バスや電車等の乗り方の座学						
	地球環境問題と交通に関する座学						
	バリアフリーに関する学習（座学）						
体験型	バスや電車等の体験乗車・乗り方教室						
	交通すごろく※1						
	フードマイレージ※2						
	バリアフリーに関する学習（体験型）						
その他	（具体的に： _____）						
	（具体的に： _____）						

※1 交通すごろく：すごろくゲームで、交通と地球環境問題の関係や渋滞などを学習

※2 フードマイレージ：買物ゲームで輸送時の環境改善を学習

問4 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁は何ですか？（いくつでも）

1. 授業時間の確保が難しい
2. 予算が足りない
3. 具体的な取組内容がわからない
4. 自治体や交通事業者の協力を得るのが難しい
5. 適切な教材を準備することが難しい
6. 自分たちの地域や交通に関するデータ（教材）を入手することが難しい
7. 進め方について相談できる窓口がない
8. 教育現場に新しい取り組みを行う余裕がない
9. 具体的事例を知る機会が少ない
10. その他（具体的に： _____)

■ 今後の「交通環境学習」について

問5 今後の「交通環境学習」の取組みについてお伺いします。

(1) 今年度（令和3年度）、貴教育委員会が所管する学校では、「交通環境学習」に取り組む予定はありますか？（1つに○）

1. 取り組む予定である →副問5.1へ
2. 取り組む予定だが、新型コロナウイルスの影響により当初の計画とは異なる方法で実施する
→副問5.1へ
3. 取り組む予定だが、新型コロナウイルスの影響により中止も考えられる →副問5.1へ
4. 取り組まない →次ページ副問5.3へ
5. わからない →次ページ副問5.3へ

副問5.1 (1)で「1」「2」「3」とお答えの方にお伺いします。

今年度の「交通環境学習」は、どのような方法で取り組む予定ですか？近いものをお答えください。（いくつでも）

1. コロナ禍以前と同様に、人を集めたイベント[※]を実施する
2. コロナ禍以前と同様に、学校・クラス単位の座学を行う
3. コロナ禍以前と同様に、校外学習や実際の車両を使った乗車体験を行う
4. 人を集めたイベントを行う予定だったが、学校・クラス単位の学習に変更する
5. 学校・クラス・グループ単位の学習を行う予定だったが、個別学習に変更する
6. 校外学習や乗車体験を行う予定だったが、座学やWEBによる学習に変更する
7. 方法については検討中である
8. その他（具体的に： _____）

※鉄道の日やバスの日、海の日などに合わせた公共交通に親しんでもらうためのイベント
（例：バスまつりなど）

→副問5.2もご回答ください。

副問5.2 (1)で「1」「2」「3」とお答えの方にお伺いします。

新型コロナウイルスの影響で、学校の授業・イベント自体が縮小されている中において、交通環境学習を実施する理由は何ですか？（いくつでも）

1. 身のまわりの交通に関する知識を学習するため
2. 公共交通の利用促進を図るため
3. 人や社会、環境にやさしい行動を取ることができる人材の育成を目指しているため
4. 他の教科では学習することができない内容・能力の強化が目標のため
5. 市町村・交通事業者等からの要請があったため
6. その他（具体的に： _____）

→6ページ問6へお進みください。

副問 5.3 (1) で「4」「5」とお答えの方にお伺いします。

これまでの「交通環境学習」への取組について教えてください。(1つに○)

1. 例年は実施していたが、今年度は新型コロナウイルスの影響のため中止した

→副問 5.4へ

2. 例年は実施していたが、今年度は取組まない(新型コロナウイルスの影響以外)

(理由:)

3. これまで実施したことがない

4. その他(具体的に:)

→ 6 ページ問6へお進みください。

副問 5.4 副問で 5.3 「1」とお答えの方にお伺いします。

新型コロナウイルスの影響により交通環境学習が実施できなくなった理由としては、どのようなものがありますか？(いくつでも)

1. 遠足、校外学習、修学旅行等がなくなり学校行事として公共交通を利用する機会がなくなったため

2. 3密対策の取組みのため全校生徒・全学年を集めた授業が難しいため

3. 接触機会削減の取組みのため外部から講師を招聘することが難しいため

4. 全体的な授業数が減っており、他の教科の学習を優先する必要があるため

5. 交通事業者等の協力を得られなかったため

6. その他(具体的に:)

→6 ページ問6へお進みください。

■ 教材・手引きの活用状況について

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団のホームページ（以下、エコモ財団 HP）から、交通環境学習の教材・事例や、手引き、データベース等を入手することができます。

The image shows a screenshot of the '交通環境学習（モビリティ・マネジメント教育）ポータルサイト' (Traffic Environment Learning (Mobility Management Education) Portal Site). The page features a navigation menu on the left with items like '教育資源' (Education Resources) and '自治体支援' (Local Government Support). The main content area includes a section titled 'モビリティ・マネジメント教育とは' (What is Mobility Management Education?), a 'データベース' (Database) section with a link to '交通環境学習プログラムデータベース' (Traffic Environment Learning Program Database) and '＜MM教育の手引き＞' (MM Education Handbook), and a '教材・事例' (Materials and Cases) section with buttons for '教材を手に入れよう!' (Get the materials!), '教材のダウンロード' (Download materials), '事例を参考にしよう!' (Use cases as a reference!), and '取り組み事例の紹介' (Introduction of implementation cases). A QR code is located at the bottom right of the page.

概要書「モビリティ・マネジメント教育のすすめ」のダウンロード

教材・事例のダウンロード

データベースの閲覧、手引きのダウンロード

エコモ財団が公開している教材・事例は、下記 HP からご覧いただけます
 交通環境学習ポータルサイト <http://www.mm-education.jp/>
 (QRコードからアクセスできます)

問6 エコモ財団 HP から入手できる資料についてお伺いします。

- (1) エコモ財団 HP で入手できる、「交通環境学習手引書」（本編または概要版）を見たことがありますか？（1つに○）
1. 見たことがあり、活用している
 2. 見たことはあるが、活用していない
 3. 見たことはない
- (2) エコモ財団 HP で入手できる、教材・事例を見たことがありますか？（1つに○）
1. 見たことがあり、活用している
 2. 見たことはあるが、活用していない
 3. 見たことはない

■ 教育機器の活用状況について

問7 学習のデジタル化として貴教育委員会で導入（もしくは導入を検討）されており、交通環境学習への活用が期待される機器はありますか？（いくつでも）

1. 児童・生徒用コンピュータ
2. 児童・生徒用タブレット端末
3. 電子黒板
4. その他（具体的に： _____ ）

問8 交通エコロジー・モビリティ財団が調査した結果、公共交通を教材に用いた「交通環境学習」に取り組む学校は、全国で少しずつ増えています。
また、教育委員会と自治体が連携して「交通環境学習」の教育的効果を考え、授業に活かしている地域もあります。

貴教育委員会としては、「交通環境学習」を普及・推進することに対して、どのように思われますか。

具体的に：

● 本アンケートのご回答者をご記入ください

※不明点などについて、お問い合わせさせていただく場合があります。

教育委員会名					
回答者の氏名			所属部署・役職		
TEL		FAX		e-mail	

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
アンケートは、11月22日(月)までに、
インターネット、メール、FAXのいずれかで返送願います。